6．第９次調査の検出遺構と出土遺物（福岡城跡第20次調査／9236）

第9次調査区は第6次調査区の南東側に隣接する調査区で、鴻臚館跡の南館の南東隅にあたる部分である。第7次調査区と同様、調査前には盛土（テニスコート観客席）とフェンスがあり、これを撤去して発掘調査を行った。よって、遺構面は第6次調査区・第7字調査区と連続する。第9次調査区では地盤地形が南東へ落ちて行くが、近世～近代に削平を受けており、遺構の残りが悪い。

第9次調査区の古代遺構は、第Ⅳ～Ⅴ期の溝状遺構（SD357）と溝状に連なる土坑群（SK351～355・358）が既に報告済みであり、本書では土坑4基を報告する。

土坑ＳＫ３５６ Fig.166

第9次調査区南東隅に位置する土坑で、前年度に『鴻臚館跡19（第1175集）』で報告したSK358に南東部を切られている。南北に長い楕円形プランで、南北長2.5m、東西長1.1mを測る。壁は内湾しながら立ち上がり、底面は平坦である。深さ25㎝が残る。土坑の覆土は赤褐色粘質土である。

ＳＫ３５６出土遺物 Fig.170

土師器、須恵器、中国産陶磁器（景徳鎮窯白磁、越州窯系青磁、陶器）、朝鮮半島産陶器が少量、瓦がコンテナ2箱出土した。

1893～1895は越州窯系青磁である。1893は粗製の碗で、円盤状高台、体部は内湾気味に開く。釉下に白化粧を施し、体外面中位から外底は露胎である。内底に白土目が付着する。1894は精製の碗で、底部は蛇の目高台。全釉で、高台畳付に目跡が付く。1895は粗製の坏。釉下に白化粧を施し、体外面下半から外底は露胎だが、釉は剥落する。内底に粗い白土目が残る。

1896・1897は朝鮮半島産陶器である。1896は統一新羅時代の壷で、内外面横ナデ調整。外面に竹管と撚り糸による印花文を施す。暗灰色。1897は胴部片で、外面に格子目叩き、内面に同心円文の当て具痕を施し、内外面に横ナデ調整を加える。黒灰色。

1898は丸瓦である。凸面は粗い斜格子に「Y」字状の線を加えた叩き目を施す。全長32.5㎝、玉縁長4.8㎝を測る。

出土遺物量が少なく、詳細時期は不明である。

土坑ＳＫ３６２ Fig.166

土坑SK356の北に6m離れて位置する土坑である。遺構面の削平が著しく、南側は更に一段深く削平を受けている。東西にやや長い楕円形プランで、南北長0.9m以上、東西長1.15m。断面は浅皿状をなし、深さ5㎝である。土坑内から円礫がまとまって出土している。

ＳＫ３６２出土遺物 Fig.170

越州窯系青磁が極く少量と、瓦がコンテナ2箱出土した。

1899は越州窯系青磁である。精製硬質の碗で、外底にヘラ削りを加え、縁辺は面取りする。高台外側から外底は露胎で、外底縁辺部に目跡が付着する。内底には白土目が残る。

土坑ＳＫ３６３ Fig.166

第9次調査区の北端部に位置する土坑である。第Ⅱ期東門の柱穴を切る。東西に長い隅丸長方形プランで、南北長1.25m、東西長2.0mを測る。断面逆台形で、壁の立ち上がりは緩やかである。深さ55㎝で、底面は平坦である。

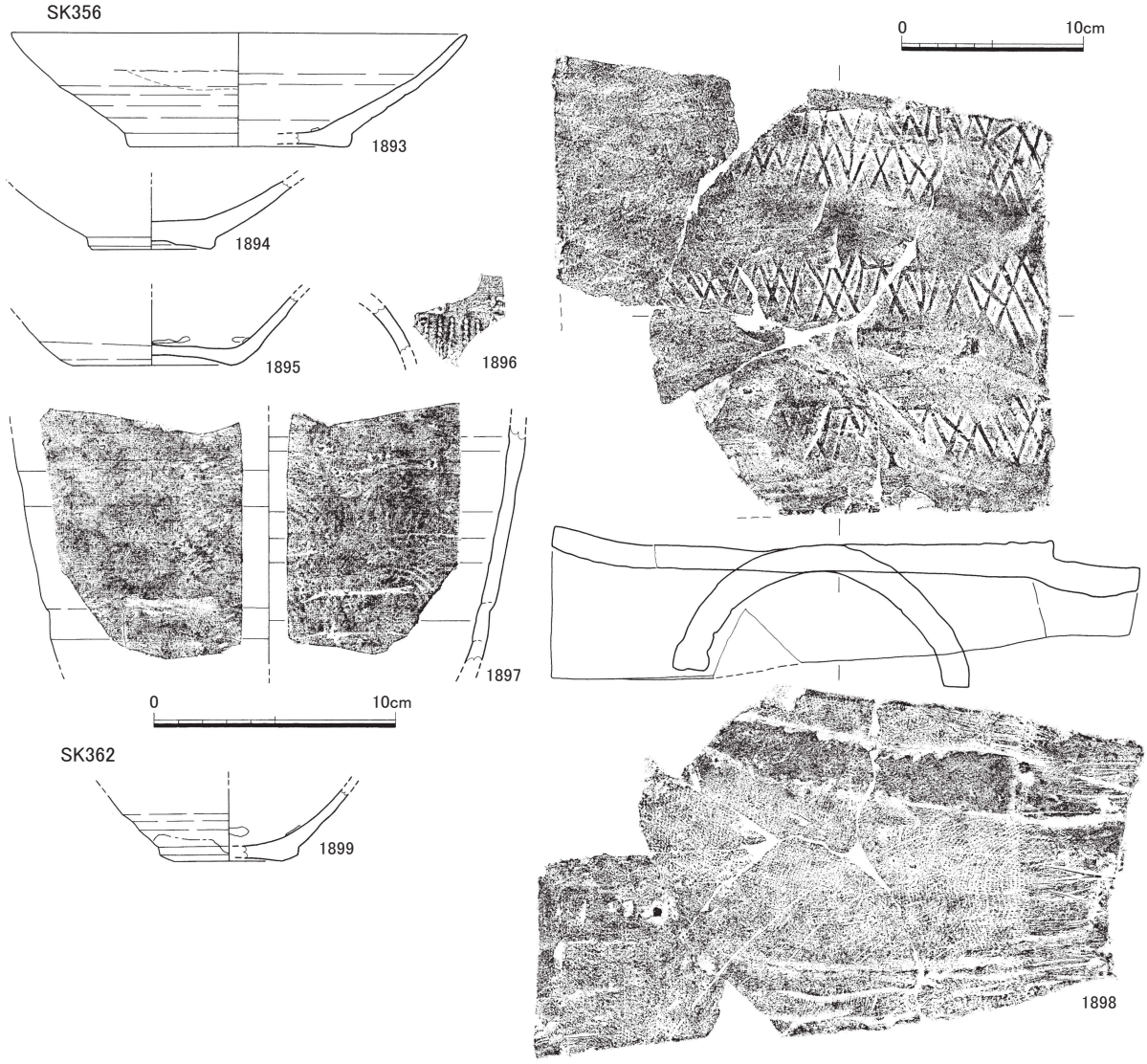


Fig.170 SK356・362 出土遺物実測図（1898 は 1/4、他は 1/3）

ＳＫ３６３出土遺物 Fig.171

土師器、須恵器、中国産陶磁器（越州窯系青磁）、朝鮮半島産陶器、明代青花・中世土師質土器（混入遺物とみられる）が少量、瓦がコンテナ10箱出土した。

1900は須恵器蓋坏の蓋である。口縁内面に返りがあり、口縁よりも僅かに下に出る。

1901は精製の越州窯系青磁碗である。全釉で、外底に目跡が付く。1902も精製の越州窯系青磁で、小片のため全形が不明である。厚さ2㎝の方形の板をつくり、中央を円形にくり抜いた形状の製品が想定される。方形で中空の台座のようなものか。上面には粘土が剥がれた痕跡があり、台座の上に乗るものがあったと考えられる。1903は粗製の越州窯系青磁壷である。内面と外面下端は露胎である。1904は施釉陶器の壷である。内面施釉、外面露胎で、外底の畳付に大きな目跡がある。

1905は朝鮮半島産陶器の壷である。接合しないが同一個体とみられる2片がある。胴部外面は格子叩きで底部周辺と頸部以上に横ナデを加える。内面は横ナデ調整で、頸部にナデ、肩部に指押え痕が残る。

1906は鴻臚館式軒平瓦（635型式）である。1907は平瓦で、凸面に大きめの斜格子目叩きを行い、

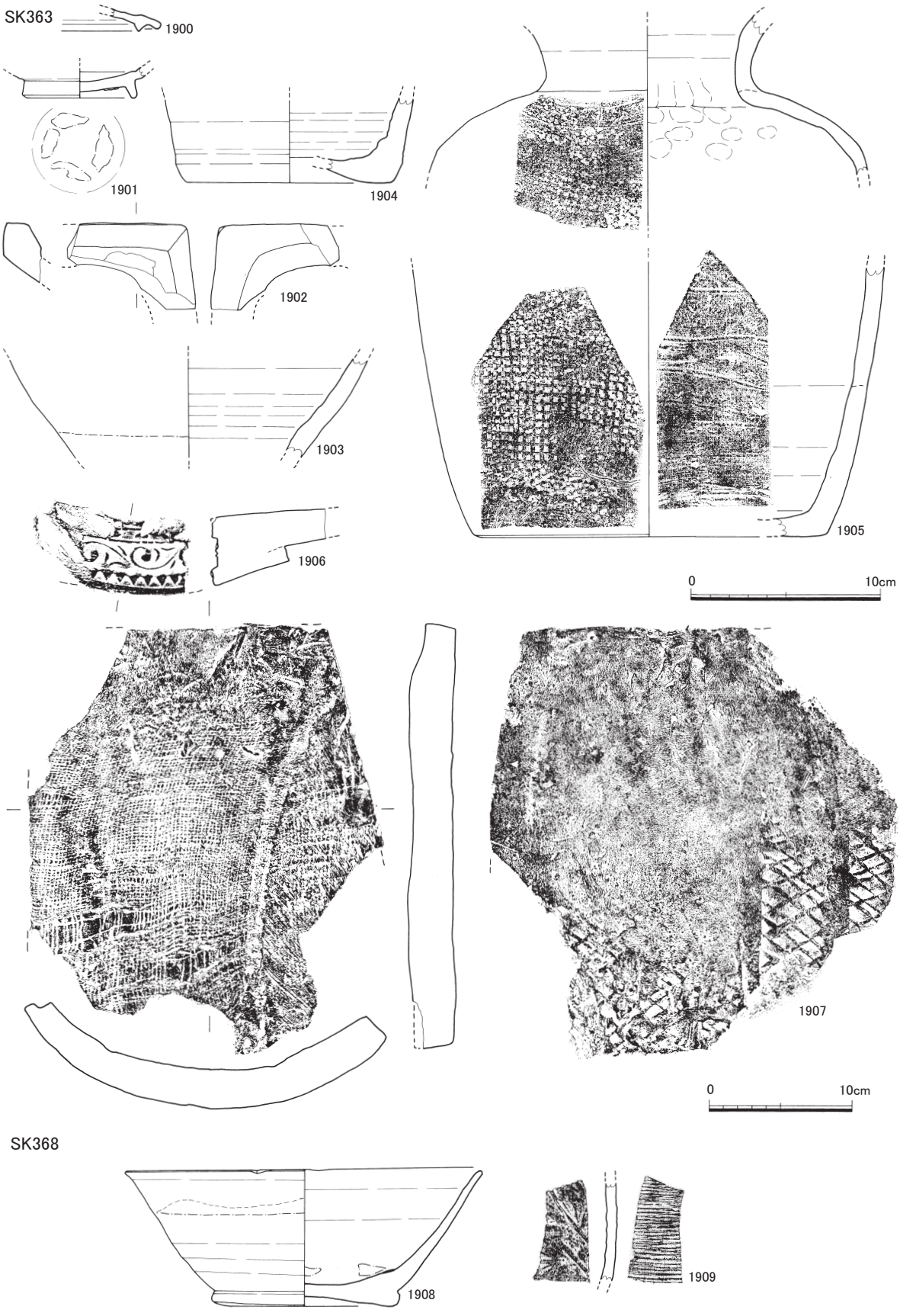


Fig.171　SK363・368 出土遺物実測図（1906・1907 は 1/4、他は 1/3）

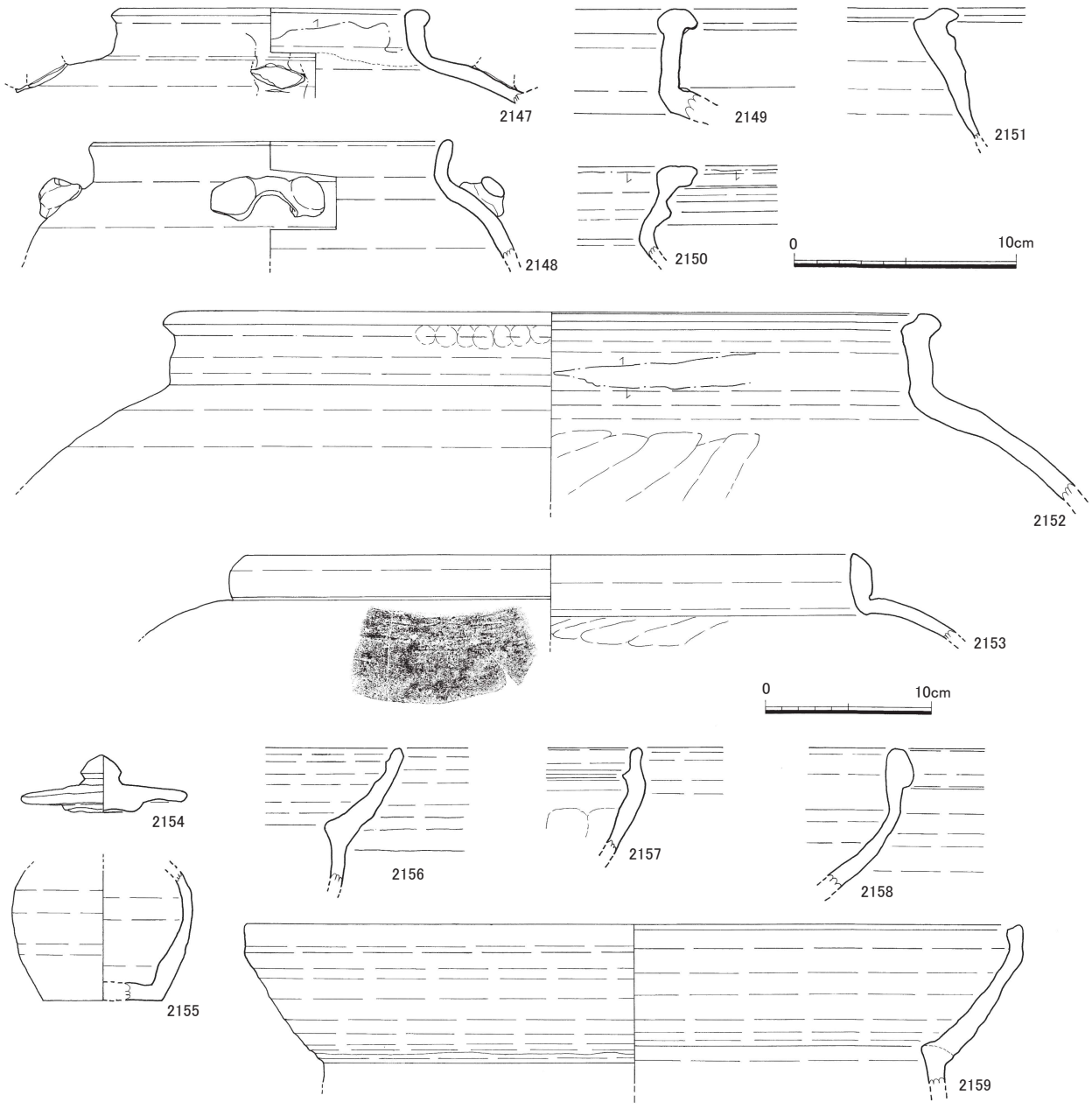


Fig.181　その他の出土遺物　土器 10（2153 は 1/4、他は 1/3）

ある。2089は内面口縁下に施文、2090は外面に毛彫りにより施文、2081は外面に片切り彫による蓮弁文を施す。2100～2112は皿。2100～2109は撥状に開く輪状高台、2110～2112は平底。内底に施文するものが多く、2103・2105～2108・2110は毛彫り文様で、いずれも草花文。2109・2111・2112は片切彫りと毛彫りを組み合わせた花弁文。2111は外面にヘラ彫りによる蓮弁文が入る。2113は蓋と思われ、天井部に施文する。2114～2121は水注。2122～2125は他と比べ胎土釉調が異なり、いわゆる“越窯”一帯の製品ではないと思われる。いずれも体外面下半から外底は露胎で、底部の目痕縁辺部が赤変する。2122～2124は胎土・釉調が同じで、極めて白っぽい淡灰白の磁胎で、釉もかなり淡い青灰色。2122は平底だが、外底中央部を再度削り込み、蛇の目高台風に仕上げている。2123・2124は低い輪状高台。2125はややざらつきのある硬陶質胎。2122と同様に外底中央部が若干凹むが、故意に削り込んだかどうかは不明。

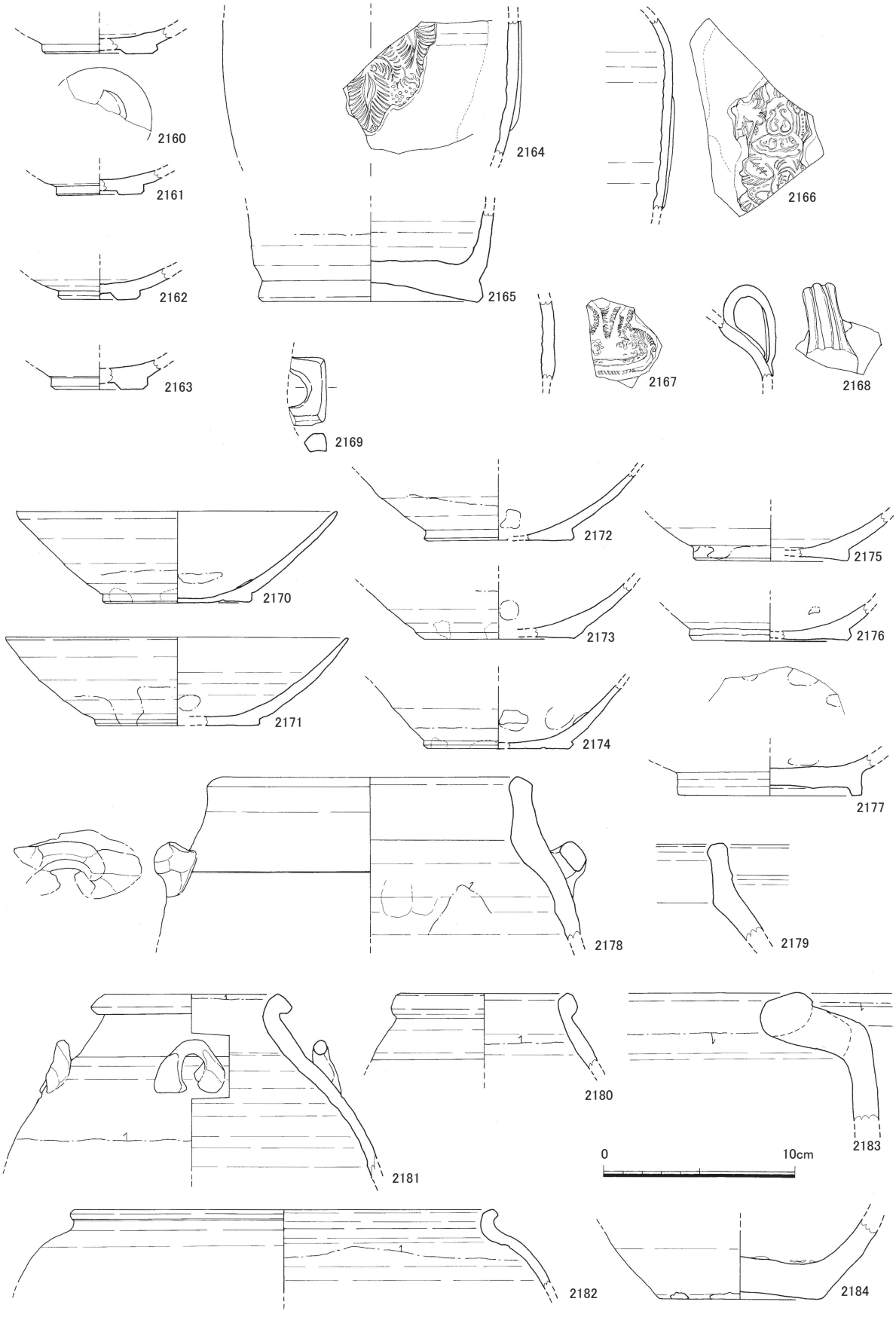


Fig.182 その他の出土遺物 土器 11 (1/3)

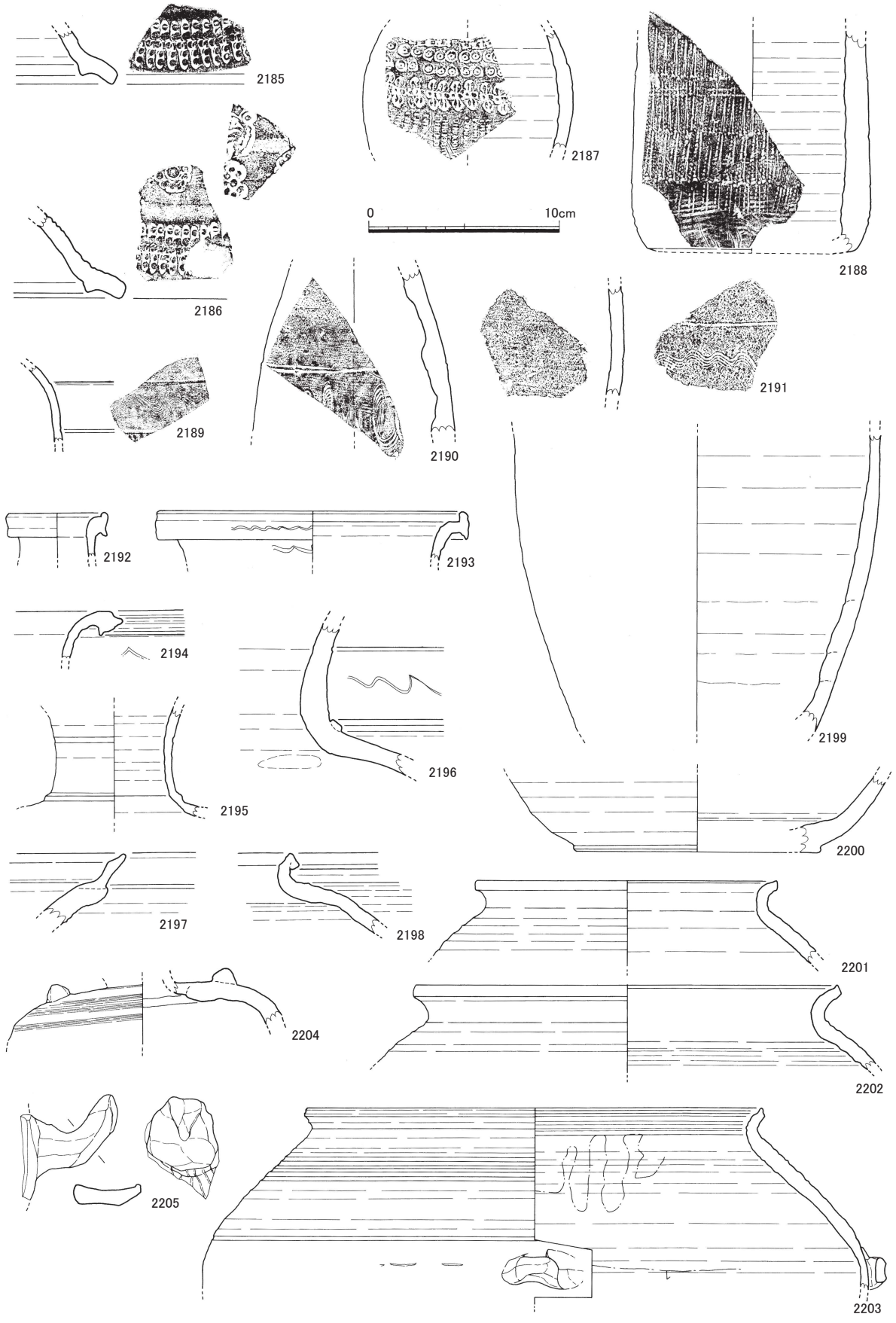


Fig.183 その他の出土遺物 土器 12（1/3）

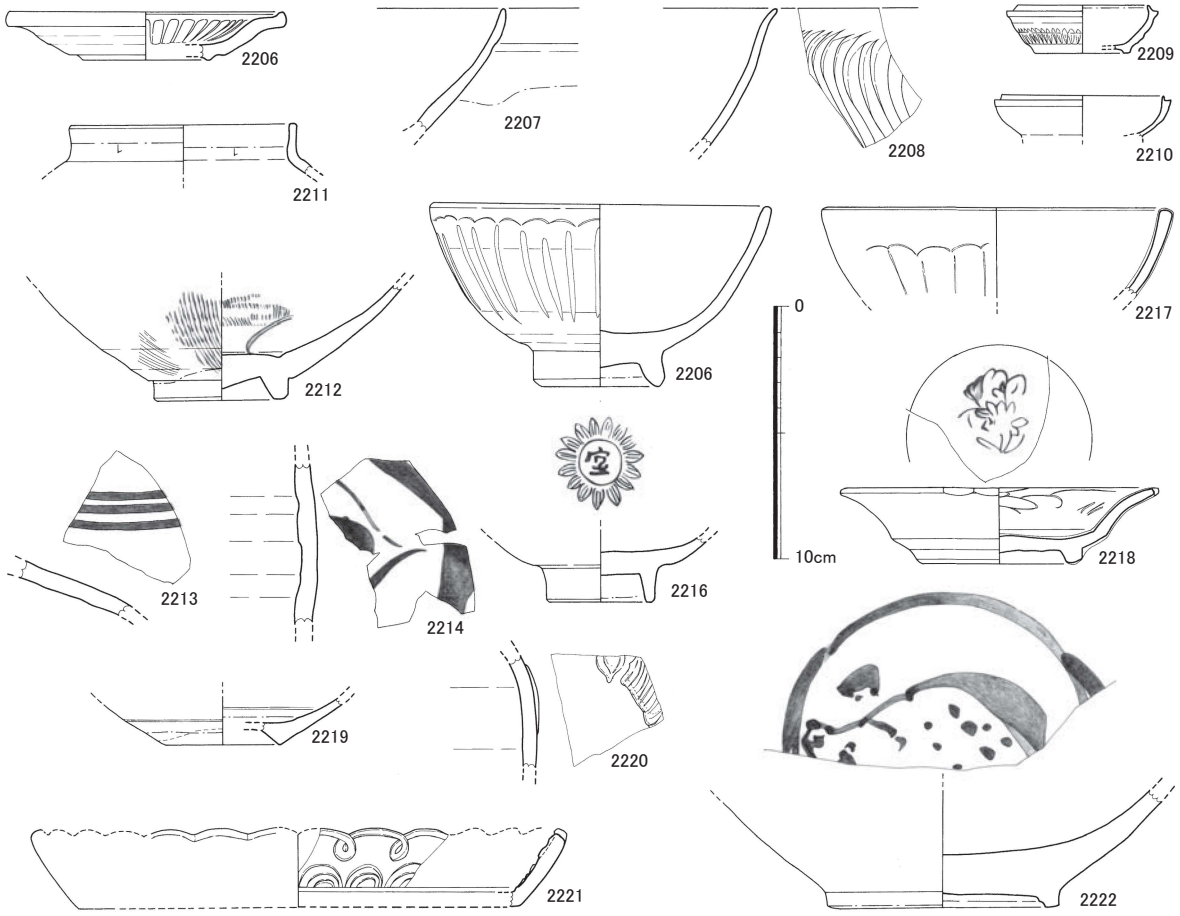


Fig.184 その他の出土遺物 土器 13（1/3）

2126～2159は福建省産製品である。2126～2144は越州窯系青磁で、福州懐安窯の製品。一部を除きほとんどが釉下に白化粧を施す。2126～2128は碗。2126・2127は輪状高台で、2126は削り出し、2127は貼り付けによる。2129～2131は合子蓋。2131は天井部に褐彩を施す。2132は香炉の蓋か。2133は大形鉢。2134～2137は盤口壷で、白化粧は施さない。2138は広口壷。2139～2142は水注。2139は口縁部と体部に褐彩がある。2143は褐彩耳。縦形の円筒状を呈し、紐装着用の壷の耳と思われ、国内では初出である。SK37からも同類のものが出土。2144～2146は褐釉で、懐安窯の製品。2144は盤口壷、2145～2146は灯盞。2147～2159は胎土に粗砂粒を多く含む陶器である。福州洪塘窯の製品であるが、懐安窯とは近接しており、同じ窯群と考える。2147～2153は褐釉、或いは緑褐釉壷である。2154～2159は無釉で、2154は小形壷蓋、2155は小形壷、他は大形の捏鉢である。

2160～2169は長沙窯製品である。2160～2163は青磁碗で、いずれも外底中央部を「の」字状に削り込んだ低い幅広高台である。2164～2168は黄釉褐彩貼花文水注。2169は褐釉方形縦耳である。

2170～2179はいずれも胎土・釉調に同じ特徴を持つ越州窯系青磁製品である。細かな黄白色の陶胎で、釉は黄緑色不透明で全体に細かな氷裂が入る。釉のクッツキが悪く剥落が著しい。広東省の製品の可能性がある。2170～2176は碗。いずれも外底に回転ヘラ削りを加えた円盤状高台で、内面に大きな目痕が残る。このタイプの碗には赤い目土が残るものもある。2177は輪状角高台碗。前者とは高台形が異なり、産地が異なるかもしれない。2178・2179は壷。いずれもかなり器壁が厚く、作りが粗雑である。

2180～2184は中国産と思われるが産地不明の製品である。2181は越州窯系青磁四耳壷。胎土は緻密であるが中に細かな黒斑が入る。釉は肩部まで施釉され、露胎部分はかなり赤変する。釉下に化粧掛

けはされない。2182は淡赤色の緻密な胎土の褐釉壷。胎土・釉調は江蘇省宜興窯の製品と似る。2183は口縁が内折する褐釉大形甕。口縁上端面を釉剥ぎする。灰色陶胎で鉄分粒を多く含むためか、器面に細かな褐色斑が浮き出る。揚子江下流域あたりの製品か。2184は器壁の厚い底部。灰色セメント質の胎土。内底に白色目土が残り、その表面には赤い赤色顔料が付着する。

2185～2205は朝鮮半島産無釉陶器である。2185～2189は統一新羅時代の製品で、外面に印花文を施す。2185・2186は坏蓋、2187は壷、2188は骨壷、2189は瓶か。2189は肩部に巡らした小さな突起と沈線の間に波状文を入れ、沈線の下には印花文を施す。2190～2205は統一新羅～高麗の製品であろう。2190・2191は瓶、2192～2203は壷である。2204・2205は須恵器の可能性もある。2204は平瓶か。肩部に乳頭状の突起が付く。

2206～2222は中世以降の陶磁器である。2206は国産陶器で、瀬戸黄釉菊弁皿。2207～2220は中国産陶磁器である。2207～2212は南宋代製品で、2207・2208は広東潮州窯系白磁、2209～2211は景徳鎮窯青白磁、2212は同安窯系青磁である。2213・2214は元代磁州窯系白釉鉄絵壷。2215～2220は明代製品で、2215～2218は竜泉窯系青磁、2219は漳州窯青花、2220は華南彩壷である。2221は緑釉盤で、内面に彫り出しによる陽刻文が施される。中国産か、近世国産かは不明。2222はタイスコタイの白釉鉄絵鉢である。

2）瓦

2223～2226は軒丸瓦である。2223・2224は224a型式で、鴻臚館式軒丸瓦よりも文様が平たく、外区内縁珠文は32を数える。2223の瓦凸面はヘラ削り後、ナデ調整される。整地層出土で、全体的に磨滅が著しい。2224はSK364出土。2225は鴻臚館式軒丸瓦（223a型式）である。近世土坑出土。2226は老司系の291型式で、整地層から出土した。2227は軒平瓦で、515E型式。近世溝出土。2228は平瓦の凸面に軒丸瓦の瓦当范型を押圧したもので、瓦の縁の方は文様が浅くなって消滅する。鴻臚館跡ではこの型式の軒丸瓦は出土していない。近代層出土。2229・2230は面戸瓦である。焼成前の丸瓦に手を加えて製作したものと考えられ、いずれも凸面の叩きは縄目でナデ調整を加える。ともに整地層出土である。

2231～2236は敲打痕文字瓦である。2231は平瓦のほぼ完形品で、凸面の複線斜格子目叩きに「賀茂」の文字が入る（903D型式）。長34.5㎝、幅26㎝を測る。2232は「賀」の文字が入る複線斜格子文の叩き目を施した平瓦である。2233は「賀」の文字の入る単線斜格子文叩き目の平瓦。2234は平瓦に「佐」（902J型式）、2235は丸瓦に「佐（左字）」（902F型式）の文字のある単線斜格子文の敲打を施す。2236は「平井」文字のある平瓦だが、残りが悪く文字が不鮮明である。

2237～2239は鬼瓦である。2237は左目の一部と髭、牙にかけての部分で、外区に珠文が並ぶ。表土出土。2238は鼻の部分で、前歯の一部が見える。整地層出土。2239は右下部分で、牙の一部と、竹菅押圧による珠文3個が残る。表土出土。

2240は鴟尾の一部とみられる資料である。中空の本体部分の上面に鰭状の装飾を施しており、底面は欠損するが平坦面をなすとみられる。鰭が低くなる部分に、釘穴とみられる孔の一部が認められる。ナデ調整で、外面は丁寧に仕上げている。表土出土品であり、時期は不詳である。近世資料である可能性が高い。

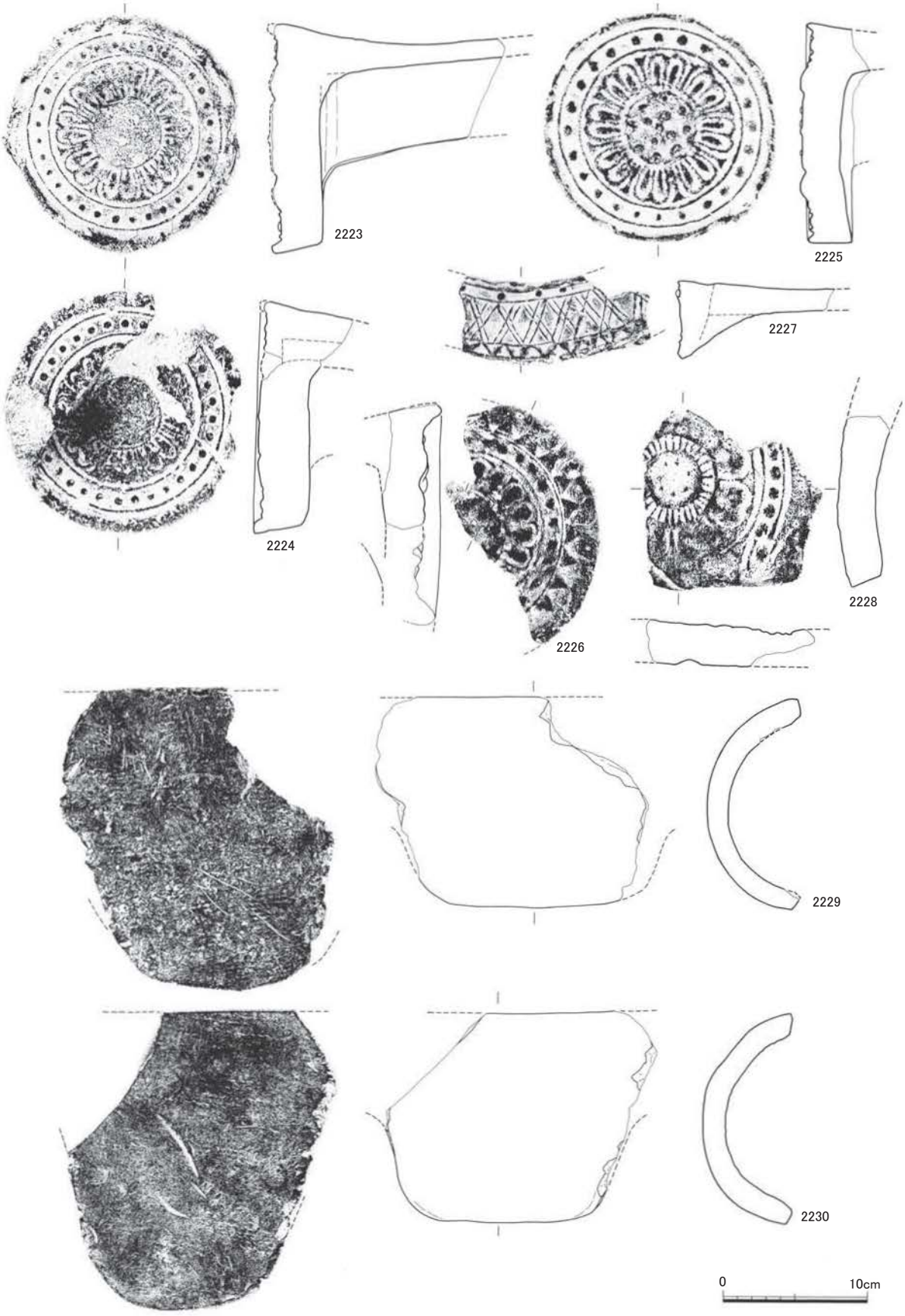


Fig.185 その他の出土遺物 瓦1 (1/4)

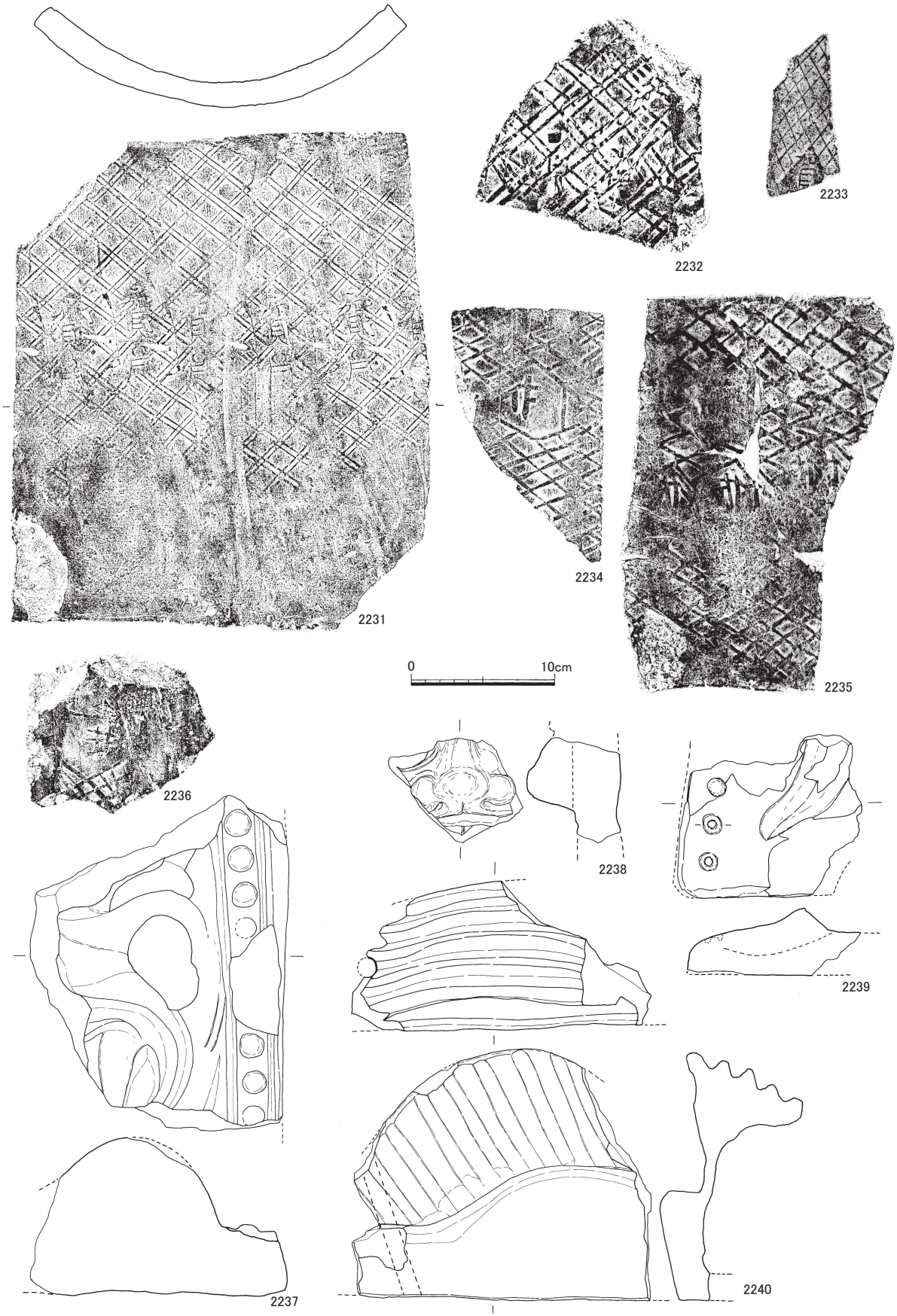


Fig.186 その他の出土遺物 瓦2（1/4）

3）その他

2241～2245は銅鏃である。いずれも腐食等による欠損が著しい。2241～2244は第5次調査区の包含層出土、2245は第6次調査区表採資料である。2246は青銅鏡である。縁が厚い平縁で、その内側に外向きの凸鋸歯文を配する。破面の一部に研磨が認められ、破鏡であろう。南門調査区包含層出土。以上は古墳時代遺物とみられ、鴻臚館築造前に丘陵上に古墳が造営されていたことを示唆するものと考えられる。2247は青銅製品で、薄い帯板状をなす。南門北側調査区出土。

2248・2249はガラス製品である。2248は容器の一部で、第6次調査の表採遺物である。淡緑色を呈し、気泡があり、表面に若干の凹凸がある。厚さ1㎜強。肉眼観察ではSK224出土ガラス小片（未図化）と同一個体とみられるが接合しない。2249はガラス製品の残片で、管玉とみられる。トイレ遺構SK70から出土した。

2250～2252は鉄製品で、断面方形の釘であろう。いずれも表採資料であり、時期不明である。

2253・2254は滑石製石鍋である。2253は縦耳が付く口縁部片で、近世池SG51出土。2254は底部片で、外面に煤が付着する。SK43出土。2255滑石製の石錘である。SK351出土。

2256～2265は土錘である。2256・2257・2262は古代の遺構から出土し、他は中～近世遺構や整地層から出土した。2266～2268は球形の土製品である。いずれも表採品で、時期不詳。2269は動物をかたどった土製品で、犬とみられる表採遺物である。

2270～2276は石製品である。2270は弥生時代の小型柱状片刃石斧である。基部の一部を欠失する。表面の風化が著しいが頁岩製であろう。整地層出土。2271は砥石である。棒状の凝灰岩礫を用い、右側面及び裏面を砥面として使用し、他面は軽く研磨を加え握りやすく仕上げている。SK41出土。2272も砥石である。棒状の粘板岩の各面を砥石に使用している。SK364出土。2273は石臼の上臼である。凝灰岩製。中世墓SK28の敷石に転用されていた。2274も石臼の上石である。下半は欠失する。礫岩製か。柱穴出土。

2275は凹石である。表裏両平坦面を敲打により窪ませ、側面を叩き石ないし磨石として用いている。南門北側トレンチ出土。2276は五輪塔の火輪である。砂岩製。ピット出土。以上の石製品のうち、砥石は古代遺物の可能性があるが、他は弥生時代以前又は中～近世に属するものであろう。

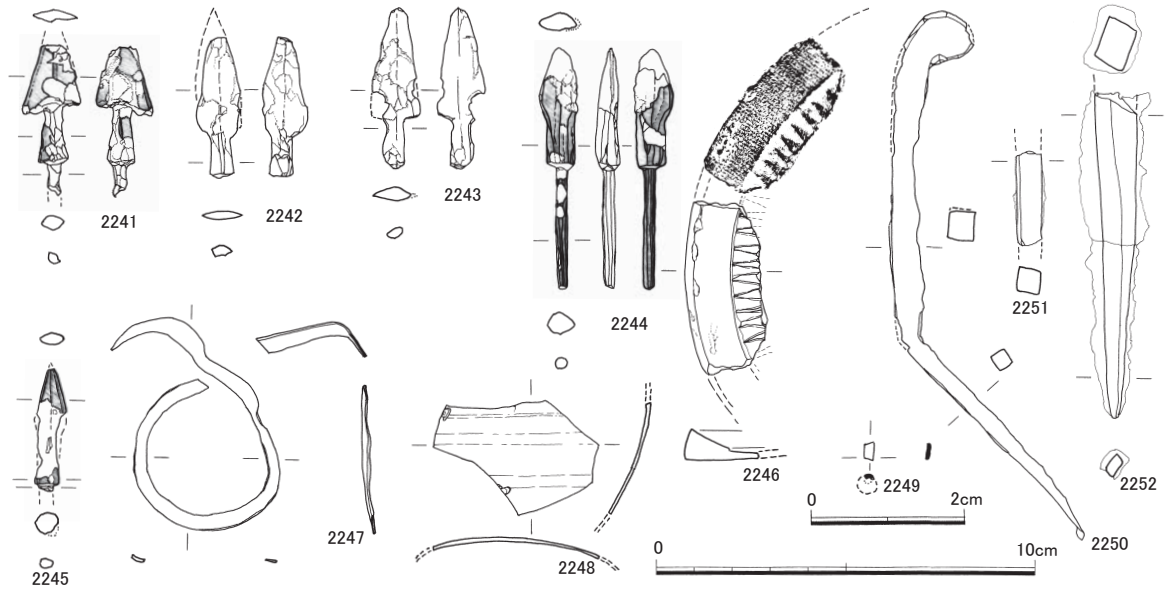


Fig.187 その他の出土遺物 銅製品・ガラス製品・鉄製品（2249 は 1/1、他は 1/2）

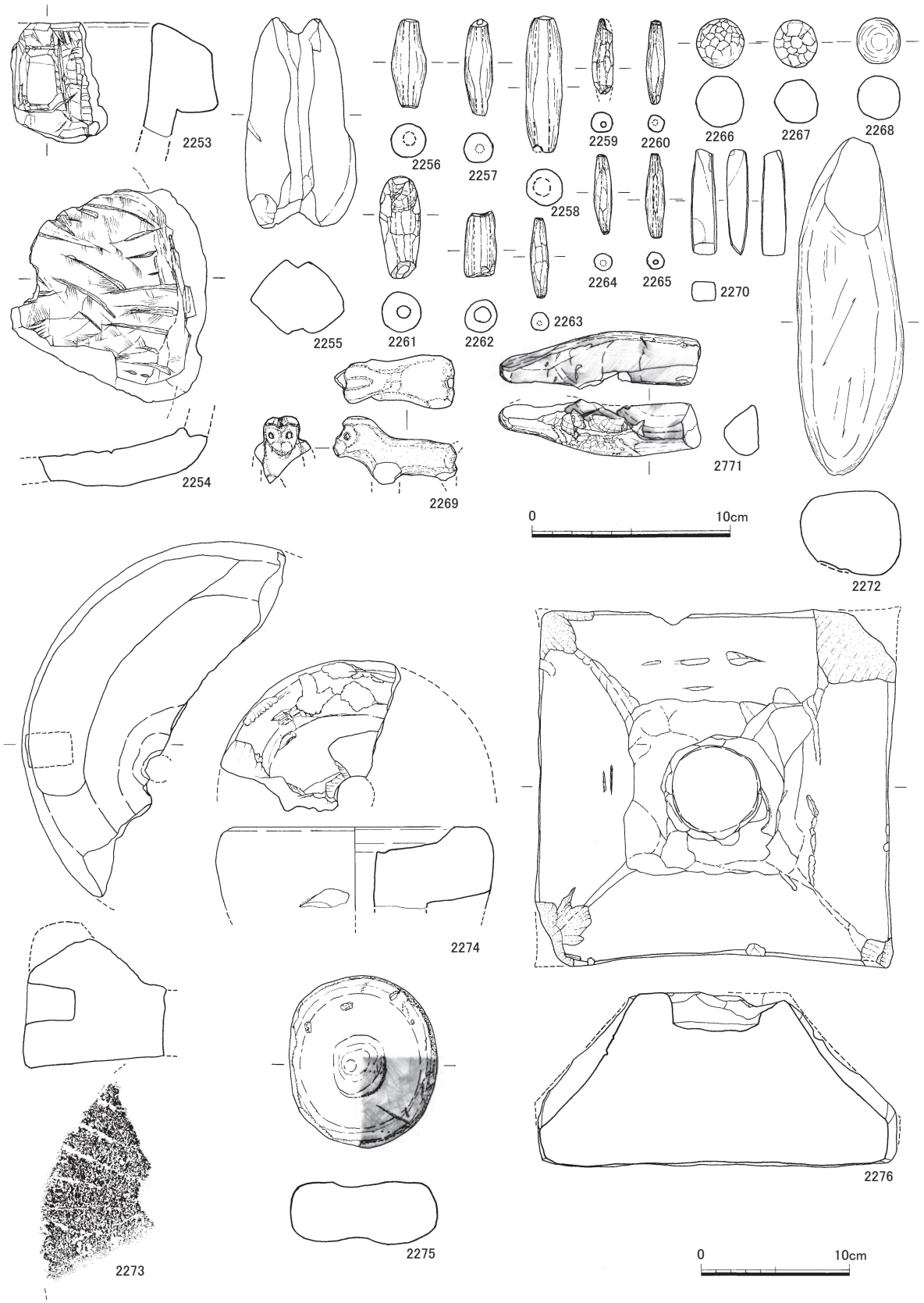


Fig.188 その他の出土遺物 石製品・土製品（2253 ～ 2272 は 1/3、他は 1/4）

8. 南館（第Ⅰ・Ⅲ期調査）における一括廃棄土坑出土の越州窯系青磁の分類と計測表

鴻臚館跡4・5・7次調査では、大量の越州窯系青磁が未使用のまま廃棄された土坑を複数確認した。第4次調査のSK38、第5次調査のSK56・SK61・SK75・SK80・SK82、第7次調査のSK246・SK255がこれにあたる。各土坑から出土した越州窯系青磁の様相には土坑ごとに相違が認められたが、紙面の都合によりその全てを掲載することができないため、代表的なものを図示し、類似するものについては種類と法量を一覧表に示した(Tab.7～14)。種類については碗・皿・坏など比較的多く出土する器種に限って今回新たに型式分類を行った (Fig.189・190)。なお、参考として代表的な中国産白磁についても掲載した。

1．分類の方法

型式分類は、生産地・時期差に結びつくよう体系化されることが望ましい。まず、胎土・釉調の相違により分別、これらを群として捉えアルファベットA・B・・を使用、次に各群の中で器種ごとの形態的相違、主に高台形によって分類し、アラビア数字1・2・3・・を使用する。これによって、将来的には碗・皿などの食膳具以外の器種への援用、資料増加による追加が可能となり、さらには生産地や時期差に繋がると考える。なお、形態的相違に基づく分類には、口縁など細部形態の要素を加味した細分類が必要であるが、今後資料増加の可能性が高く、今回はあえて分類番号を付さない。

2．各群の特徴

従来、日本国内出土の越州窯系青磁は精製品と粗製品の二種類に大別され、前者が浙江省産、後者が福建省産であることが把握されている(栗・鄭・田中1999)。浙江産をA群とし、さらに胎土・釉調の相違によりA_1～A_3群に細分、福建産をB群とした。また、施釉方法については外底まで全て施釉するものをⅠ、体外面下半、或いは外底部が露胎のものをⅡとする。

A_1群：胎土は淡灰褐色～淡灰白色、夾雑物を含まず精良。黄緑色～青緑色主体の釉調。上虞・慈渓などいわゆる“越窯”を中心とした地域の製品が主体となる。

A_2群：胎土は極めて白味の強い淡灰白色、粘性が強く磁質。かなり淡い青灰色釉、釉層も極めて薄い。胎土・釉調は浙江南部温州一帯のいわゆる“甌窯”の製品と近似する。

A_3群：胎土は灰色～暗灰色、微細な白色砂粒を含む。暗青緑色釉、釉層は比較的厚い。浙江中部台州に類似品が認められるものもあるが、タイプによっては窯が異なる可能性もある。

B群：胎土は灰色、緻密だが鉄分が多く中に黒斑が多く入り、それを補うために釉下に白化粧を施す。黄緑色主体の釉調。ほぼ福州懐安窯の製品だが、一部窯が異なる可能性がある製品もある。

3．型式分類

Tab.6-1　越州窯系青磁型式分類表（1）

群	器種	高台形		その他の要素	施釉
A_1	碗	1	蛇の目高台。畳付幅広いもの、狭いもの。	直口縁主体、内湾口縁あり。器壁厚い。	Ⅰ、Ⅱ
		2	極めて低い肉厚輪状高台。高台径大きい。	端反口縁主体。体外面からのヘラ押。小形品あり。	Ⅰ、Ⅱ
		3	やや高めの肉厚輪状高台。	直・端反・輪花口縁など。体外面ヘラ押。	Ⅰ、Ⅱ
		4	細く高い輪状角高台。	直・端反・輪花口縁など。体外面ヘラ押。	Ⅰ
		5	細く小さな輪状高台、畳付窄まる。高さが低いものから高いもの、撥状に開くものなどバリエーション多い。	直・端反・輪花口縁など。内面にヘラ彫・毛彫による施文。	Ⅰ 外底目痕

Tab.6-2 越州窯系青磁型式分類表（2）

群	器種	高台形		その他の要素	施釉
A_1	皿	1	低い輪状角高台。	直・端反口縁・輪花口縁。	I
		2	皿1と同じだが、体部下半で屈曲。	直・輪花口縁。体外面ヘラ押し。	I
		3	細く高い輪状高台、撥状に開く。	直・端反口縁・輪花口縁など。 内底に毛彫施文あり。	I 外底目痕
		4	平底。	内底毛彫による施文多い。	I 外底目痕
	稜花皿	1	低い輪状角高台。	体外面ヘラ押し。	I
		2	平底。	体外面ヘラ押し。	I
	坏	1	平底。	内湾口縁。	I
		2	平底。	折り曲げによる玉縁状口縁。	II
A_2	碗	1	平底だが外底中央を再削りし、“蛇の目高台風”となる。底部はかなり肉厚。	直口縁。	II
		2	平底。底部外縁を面取り。底部はかなり肉厚。	直口縁。小形品あり。	II
		3	極めて低い肉厚輪状高台。畳付斜めに削る。	直・端反口縁。小形品あり。	II
	皿	1	碗3と同じ。高台脇で屈曲。	直口縁。	II
A_3	碗	1	円盤状高台。高台外縁を面取り。	直口縁。大形品。	II
		2	極めて低い肉厚輪状高台。畳付斜めに削る。	直口縁。大形品。	II
		3	平底。底部外縁を面取り。	直口縁。体部の立ち上がりは碗1・2類ほど開かない。	II
	皿	1	円盤状高台。底部外縁を面取り。体部下半で屈曲。	輪花口縁。	II
B	碗	1	円盤状高台。外底を再削りし“蛇の目高台風”に仕上げる。高台低い。	直口縁。体外面ヘラ押しもあり。	II
		2	円盤状高台。高台低い。	体部直行。直・内湾口縁。	II
		3	円盤状高台。高台は総じて高い。	体部内湾。端反・輪花口縁。体外面ヘラ押し。小形品あり。	II
		4	円盤状高台。	玉縁状口縁。小形品主体。	II
		5	円盤状高台。	内湾口縁。小形品のみ。	II
		6	輪状高台。削り出しと貼り付け高台。	端反輪花口縁。体外面ヘラ押し。	II
	皿	1	円盤状高台。	体部上位で屈曲、端反輪花口縁。	II
	坏	1	平底。	直口縁。稜花口縁もあり。口縁褐彩。	II

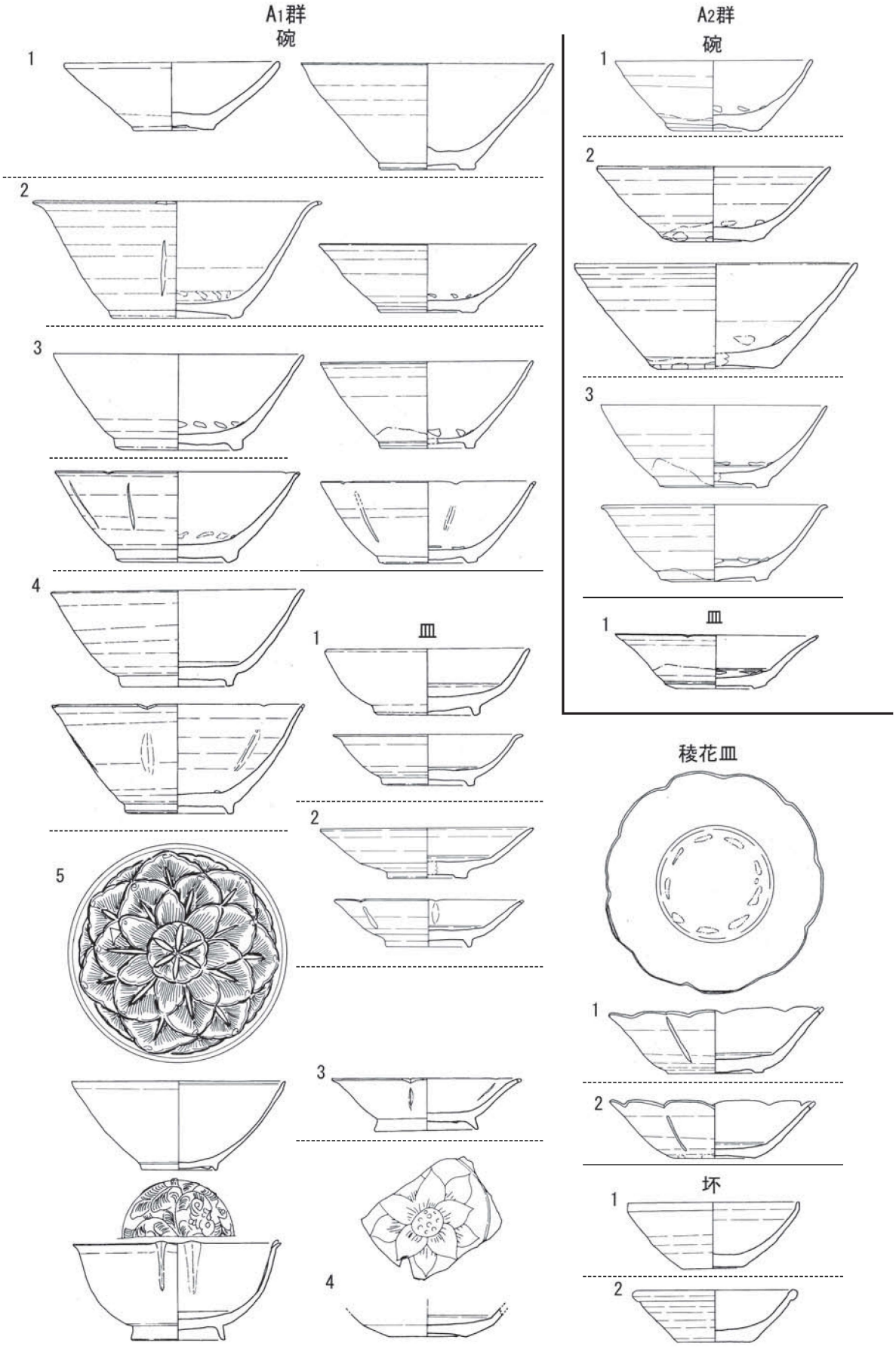


Fig.189 越州窯系青磁分類図1（1/4）

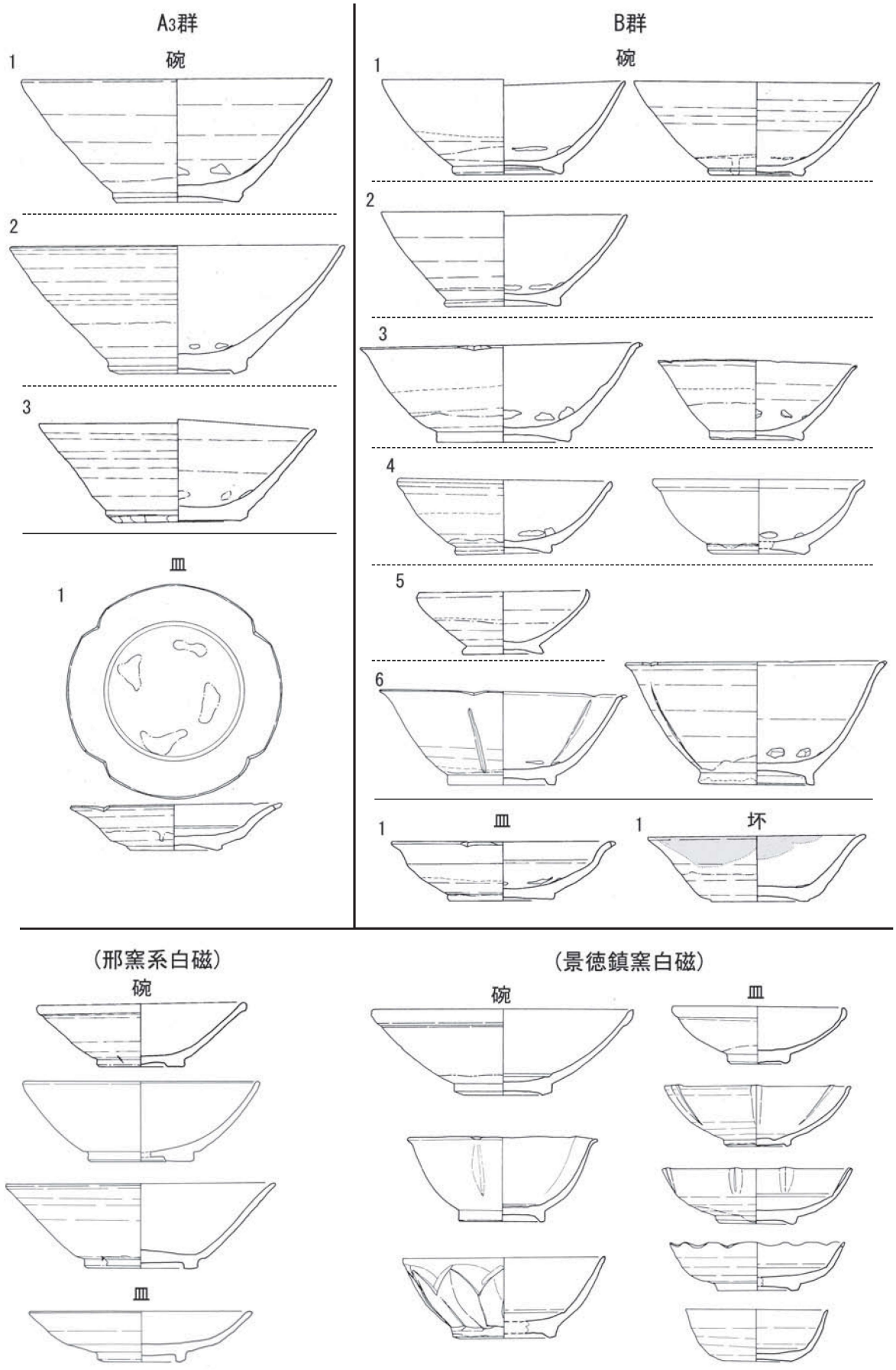


Fig.190 越州窯系青磁分類図2 (1/4)

４．一括廃棄土坑出土の越州窯系青磁一覧用（分類と計測表）

各一覧表中の資料は、器種・型式が判別でき、法量の計測が可能なもののみを抽出・掲載した。従って、個数については最低個体数を示すものであり、他に多数の破片資料があることをことわっておく。また、碗・皿・坏以外の器種については、群ごとに器種別の個体数のみを掲載した。

Tab.7　SK38 出土越州窯系青磁一覧表（調査番号：8829）

分類記号	Fig. 番号	登録番号（8829）	口径（cm）	器高（cm）	底径（cm）	数（個）
A1 碗 2(Ⅰ)	18-70	00530	18.2	7.7	7.0	
	－	00493	-	-	8.0	2
A1 碗 3(Ⅰ) 小	18-71	00069	15.0	5.4	5.6	
	18-72	00072	14.6	5.9	6.6	
	18-73	00076	14.6	5.7	6.3	
	18-74	00073	15.0	5.7	6.8	
	18-75	00070	14.6	5.5	6.7	
	18-76	00077	14.6	5.8	6.3	
	18-77	00075	15.4	5.6	6.8	
	－	00071	15.2	5.7	6.8	
	－	00074	15.5	5.8	6.8	9
A1 碗 3(Ⅰ)	18-78	00078	17.8	7.0	7.4	1
A1 碗 4(Ⅰ)	－	00491	16.8	7.3	7.4	
	－	00492	-	-	8.0	
	－	00494	-	-	7.2	3
A1 皿 1(Ⅰ)	18-79	00495	14.0	3.7	6.6	
	18-80	00496	16.6	4.4	7.4	
	－	00506	14.4	-	-	3
B 碗 2(Ⅱ)	18-82	00518	16.8	5.7	7.8	
	18-83	00524	17.0	5.5	7.6	
	18-84	00519	16.8	6.0	7.8	
	－	00515	18.1	6.6	8.2	
	－	00517	17.7	6.3	8.2	
	－	00520	16.7	6.0	8.1	
	－	00523	16.7	5.5	7.8	
	－	00537	17.5	6.0	8.3	
	－	00538	16.8	5.4	8.2	
	－	00540	19.0	5.6	9.0	
	－	00542	17.6	5.6	8.2	
	－	00548	18.2	5.7	8.4	
	－	00550	17.6	6.2	8.4	
	－	00551	18.2	5.8	8.9	
	－	00582	17.6	5.2	8.2	15
B 碗 3(Ⅱ) 小	18-87	00562	13.8	5.5	5.9	
	18-88	00529	13.6	5.4	6.2	
	18-89	00564	13.7	5.4	6.5	
	－	00528	13.7	5.2	6.0	
	－	00531	14.3	5.5	6.9	
	－	00532	13.8	5.4	6.1	
	－	00561	13.8	5.4	6.0	
	－	00560	14.3	5.2	6.8	
	－	00563	14.5	5.2	6.7	
	－	00566	14.8	5.2	6.7	
	－	00567	14.0	5.2	7.0	
	－	00568	14.2	5.2	6.8	
	－	00569	14.0	5.1	6.8	
B 碗 3(Ⅱ) 小	－	00570	14.2	5.5	7.0	
	－	00571	14.2	5.5	6.8	
	－	00572	15.0	5.4	6.7	
	－	00573	14.3	5.3	6.5	
	－	00574	14.3	5.4	7.0	
	－	00575	15.0	5.3	6.4	
	－	00576	15.0	5.5	7.0	
	－	00577	14.6	5.3	6.6	
	－	00578	14.3	5.7	6.3	
	－	00580	14.2	5.2	6.9	23
B 碗 3(Ⅱ)	18-85	00490	16.9	6.6	7.4	
	18-86	00514	18.7	6.8	8.8	
	－	00516	16.9	6.5	7.5	
	－	00522	16.3	7.0	8.0	
	－	00526	17.2	6.2	8.3	
	－	00527	16.6	6.2	7.3	
	－	00539	20.0	7.7	9.0	
	－	00541	16.7	7.0	8.2	
	－	00543	19.4	6.6	8.3	
	－	00544	17.3	6.2	8.4	
	－	00545	17.2	5.6	8.2	
	－	00546	17.5	6.4	8.1	
	－	00547	20.0	7.6	9.3	
	－	00549	17.0	6.7	7.9	
	－	00552	17.0	6.4	7.8	
	－	00553	17.4	6.9	8.0	
	－	00554	17.2	6.4	8.0	
	－	00555	17.0	6.0	8.0	
	－	00556	16.0	7.0	7.8	
	－	00557	18.3	7.0	8.4	
	－	00558	17.0	6.9	8.0	
	－	00559	17.0	6.1	8.0	
	－	00581	18.8	5.8	8.7	
	－	00583	17.8	6.2	8.3	
	－	00584	17.4	6.7	8.3	
	－	00585	19.4	7.6	9.6	
	－	00586	19.6	7.8	9.4	
	－	00588	17.8	-	-	28
B 碗 4(Ⅱ) 小	19-90	00565	14.5	4.9	6.6	
	19-91	00579	14.2	5.1	6.0	2
B 碗 4(Ⅱ)	－	00587	18.2	6.8	8.6	1
B 碗 6(Ⅱ)	19-92	00521	17.9	8.3	7.7	1
B 皿 1(Ⅱ)	19-93	00536	15.3	4.2	6.5	
	19-94	00533	15.7	4.0	6.8	
	19-95	00535	14.9	4.2	6.6	
	19-96	00534	14.9	4.1	6.5	4
総個数						92

SK38 出土のその他の器種

A1 群	広口壷 1	B 群	壷蓋 1
			水注 1

Tab.8　SK56 出土越州窯系青磁一覧表（調査番号：8910）

分類記号	Fig. 番号	登録番号（8910）	口径（cm）	器高（cm）	底径（cm）	数（個）
A1 碗 1(Ⅰ)	38-286	00789	-	-	6.4	
	38-287	10285	-	-	6.2	
	38-288	00831	-	-	6.8	
A1 碗 1(Ⅱ)	38-289	10286	-	-	9.2	4
A1 碗 2(Ⅰ)	38-290	00828	20.8	6.7	9.6	1
A1 碗 3(Ⅰ) 小	39-291	10288	11.2	3.8	5.2	
	39-292	00057	10.0	4.3	4.8	
	39-293	00830	13.4	5.5	7.3	
	39-294	00825	13.8	5.5	5.7	
	39-295	10287	14.2	5.3	5.2	
	39-296	00826	14.5	5.0	6.1	
	－	00771	14.6	5.1	6.4	
	－	10302	15.6	5.6	6.2	
	－	10303	14.8	5.4	6.6	
	－	10304	14.6	5.3	6.0	
	－	10305	11.2	3.7	5.4	11
A1 碗 3(Ⅰ)	39-297	00822	17.6	6.0	8.6	
	39-298	00030	17.0	6.3	8.4	
	39-300	00034	17.0	6.5	8.3	
	－	00827	17.6	6.0	8.0	
	－	00829	17.8	6.6	8.8	
	－	10306	18.0	6.5	8.0	
	－	10307	17.6	6.7	7.8	
	－	10308	-	-	8.5	
A1 碗 3(Ⅱ)	39-299	10289	17.4	6.7	8.8	9
A1 碗 4(Ⅰ)	39-301	00821	17.4	6.5	8.0	
	39-302	00819	17.0	6.8	7.5	
	39-303	00031	17.5	6.7	7.7	
	39-304	00832	17.8	7.5	7.8	
	39-305	00032	17.0	7.3	6.5	
	39-306	00824	17.2	6.9	6.6	
	39-307	00817	17.4	7.0	8.0	
	39-308	00036	16.7	6.6	7.5	
	39-309	00037	17.0	6.6	7.6	
	39-310	00033	17.5	7.5	7.4	
	－	00035	17.5	7.3	7.0	
	－	00768	17.4	7.0	7.4	
	－	00769	16.3	6.5	7.6	
	－	00770	17.4	6.5	8.0	
	－	00818	17.4	6.3	7.8	
	－	00820	17.2	6.5	7.0	
	－	00823	17.0	6.5	6.0	
	－	10309	17.6	6.4	7.4	
	－	10310	17.2	6.7	7.2	19
A1 皿 1(Ⅰ)	40-316	10291	12.0	3.1	5.9	
	40-317	00606	14.0	3.6	6.4	
	40-318	00601	14.0	3.5	6.6	
	40-319	00607	13.6	3.8	6.8	
	40-320	10290	13.8	3.9	6.5	
	40-321	00051	13.7	3.9	6.9	
	40-322	00050	14.1	4.6	7.3	
	－	00774	11.6	3.5	6.0	
	－	10312	13.4	4.0	7.0	
	－	10313	12.2	3.2	5.8	
	－	10314	15.0	-	-	11

分類記号	Fig. 番号	登録番号（8910）	口径（cm）	器高（cm）	底径（cm）	数（個）
A1 稜花皿 1(Ⅰ)	40-323	00053	15.0	4.4	6.7	
	40-324	10294	14.6	3.5	6.8	
	40-325	10295	16.0	4.1	7.2	
	40-326	00773	14.6	3.7	6.4	4
A1 稜花皿 2(Ⅰ)	40-327	00052	14.3	4.0	5.6	
	40-328	10293	13.8	3.9	4.8	
	40-329	10292	13.5	3.6	6.0	3
A1 坏 1(Ⅰ)	40-312	00633	12.0	4.2	4.0	
	40-313	00634	11.2	4.4	4.6	
	40-314	00056	12.0	9.5	4.4	
	－	00635	13.0	-	-	
	－	10316	13.6	-	-	
	－	10317	-	-	5.2	6
A1 坏 2(Ⅱ)	40-311	00055	11.4	3.6	5.2	1
A3 碗 1(Ⅱ)	42-353	10296	-	-	7.5	1
A3 碗 3(Ⅱ)	42-354	10297	-	-	7.6	1
B 碗 1(Ⅱ)	42-355	00836	17.0	6.2	7.0	
	42-356	10321	-	-	7.4	
	42-357	10322	-	-	7.0	
	－	10340	-	-	8.0	
	－	10341	-	-	8.2	5
B 碗 2(Ⅱ) 小	42-358	10326	14.8	5.5	6.6	1
B 碗 2(Ⅱ)	42-359	10324	17.8	6.3	8.6	
	42-360	10325	20.6	6.1	10.2	
	－	00046	17.6	5.1	7.6	
	－	00047	17.7	5.5	7.8	
	－	10323	16.4	5.3	8.2	5
B 碗 3(Ⅱ) 小	42-366	00835	13.8	5.0	6.8	
	42-367	00045	14.4	5.2	6.4	
	42-368	00044	15.8	5.3	6.2	
	－	10338	15.0	5.5	8.4	
	－	10339	14.2	5.2	6.3	5
B 碗 3(Ⅱ)	42-369	00038	17.5	6.1	8.3	
	42-370	00039	17.6	6.5	8.0	
	42-371	00837	17.4	6.6	7.9	
	42-372	00043	17.0	6.0	8.0	
	42-373	00042	17.9	6.3	8.1	
	42-374	00040	18.8	7.5	9.4	
	－	00041	18.5	7.0	8.9	
	－	00772	18.5	6.4	8.8	
	－	10335	17.4	6.3	8.0	
	－	10336	19.4	7.2	9.0	
	－	10337	18.0	6.8	9.0	11
B 碗 4(Ⅱ) 小	42-363	00048	14.7	4.7	6.9	
	42-364	10328	14.8	4.9	6.0	
	42-365	10327	15.2	5.0	6.6	3
B 碗 5(Ⅱ)	42-361	00613	10.8	3.6	5.0	
	42-362	10329	12.2	3.5	5.0	2
B 皿 1(Ⅱ)	43-375	10330	16.0	3.3	6.2	
	43-376	00834	15.4	4.5	8.1	
	43-377	00054	13.7	4.1	6.4	
	－	10343	16.4	-	-	4
B 坏 1(Ⅱ)	43-378	10331	13.8	4.4	5.6	
	43-379	00833	14.4	4.5	6.2	
	43-380	00049	14.9	4.5	6.7	
	－	10344	14.4	3.8	7.0	4
総個数						111

SK56 出土のその他の器種

A1 群	坏（隋代か）1	水注・壷類 12
	小形合子 3	鉢 2
	小形壷 11	薬研 1
	合子 2	
	壷蓋 1	

B 群	合子 3	褐釉壷蓋 1
	壷蓋 1	褐釉壷類 4
	水注・壷類 4	陶器壷類 2
	鉢 1	陶器捏鉢 7
	褐釉灯盞 5	薬研 1

Tab.9 SK61 出土越州窯系青磁一覧表（調査番号：8910）

分類記号	Fig. 番号	登録番号 (8910)	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	数 (個)
A1 碗 1(Ⅰ)	49-460	10391	14.6	5.0	3.8	
	49-461	10392	-	-	5.9	2
A1 碗 2(Ⅰ)	49-462	10394	19.2	6.5	9.6	
	49-463	10393	19.2	7.5	8.4	
	49-464	10395	19.0	6.4	8.8	
	–	10396	-	-	9.3	4
A1 碗 4(Ⅰ)	49-465	10398	18.2	6.7	8.0	
	49-466	10401	-	-	7.0	
	49-467	10399	-	-	8.6	3
A1 碗 5(Ⅰ)	49-468	10400	-	-	8.8	1
A1 稜花皿 2(Ⅰ)	49-472	10388	-	-	4.8	1
A3 碗 1(Ⅱ)	49-470	10389	-	-	7.0	
	49-471	10390	-	-	5.2	2
A3 碗 3(Ⅱ)	49-469	10397	17.8	6.0	8.0	1
B 碗 1(Ⅱ)	50-476	10405	-	-	7.2	1
B 碗 2(Ⅱ)	50-477	00098	16.1	6.6	7.6	
	50-478	00097	16.7	6.6	7.5	
	–	00099	17.2	6.4	7.8	
	–	10428	18.0	6.0	8.6	4
B 碗 3(Ⅱ) 小	50-479	00089	14.3	5.5	6.5	1
B 碗 3(Ⅱ)	50-480	00088	17.1	6.3	7.8	
	50-481	00080	18.8	7.0	8.6	
	50-482	00087	17.5	6.2	8.4	
	50-483	00081	17.9	6.0	8.0	

分類記号	Fig. 番号	登録番号 (8910)	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	数 (個)
B 碗 3(Ⅱ)	50-484	00086	19.2	6.7	8.8	
	50-485	00108	19.2	6.5	8.6	
	50-486	00079	18.9	6.7	8.9	
	50-487	00085	19.8	16.4	8.9	
	–	00078	19.4	7.2	9.4	
	–	00082	18.8	6.9	8.8	
	–	00083	18.9	7.1	9.4	
	–	00084	17.0	11.5	8.4	
	–	10425	18.8	6.8	9.0	
	–	10426	16.8	6.3	8.3	
	–	10427	16.5	5.6	7.8	15
B 碗 4(Ⅱ) 小	50-490	00090	14.0	5.1	6.5	
	50-491	00093	14.7	5.2	6.2	
	50-492	00096	14.9	5.2	6.9	
	50-493	00095	14.8	5.5	6.5	
	50-494	00092	15.1	5.4	6.5	
	50-495	00091	14.8	5.1	6.3	
	–	00094	14.3	5.2	6.4	7
B 碗 5(Ⅱ)	50-488	10407	10.6	3.9	4.8	
	50-489	10408	9.4	-	-	2
B 皿 1(Ⅱ)	50-496	10406	13.8	4.2	6.3	1
B 坏 1(Ⅱ)	50-497	00100	13.7	4.4	6.0	
	50-498	00102	14.0	4.3	5.6	
	50-499	00101	14.0	4.3	5.7	
	–	10429	15.0	4.0	7.0	4
総個数						49

SK61 出土のその他の器種

A1 群	鉢 2	
	広口壷 1	

B 群	壷蓋 4	褐釉壷 1
	褐釉灯盞 4	陶器壷 3
		陶器捏鉢 3

Tab.10 SK82 出土越州窯系青磁一覧表（調査番号：8910）

分類記号	Fig. 番号	登録番号 (8910)	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	数 (個)
A1 碗 1(Ⅰ)	74-793	10693	12.6	-	-	
	74-794	10692	-	-	5.8	
	74-795	10690	-	-	7.4	
A1 碗 1(Ⅱ)	74-796	10691	-	-	6.4	4
A1 碗 2(Ⅰ)	74-797	10694	-	-	9.8	1
A1 碗 3(Ⅰ) 小	74-798	10695	-	-	6.0	1
A1 碗 4(Ⅰ)	74-799	00204	17.2	7.7	7.6	1
B 碗 1(Ⅱ)	74-802	10699	16.2	6.2	5.7	
	74-803	00815	16.8	6.9	8.0	
	74-804	00814	-	-	7.4	
	74-805	10698	-	-	7.5	4
B 碗 2(Ⅱ)	74-806	00208	17.8	6.0	8.7	
	74-807	00207	17.7	5.5	8.7	
	74-808	00206	19.2	6.1	8.6	3
B 碗 3(Ⅱ) 小	75-814	00222	13.8	5.7	5.8	
	75-815	00218	13.8	5.4	6.0	
	75-816	00219	13.8	5.3	5.0	
	75-817	00220	14.2	5.0	6.5	

分類記号	Fig. 番号	登録番号 (8910)	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	数 (個)
B 碗 3(Ⅱ) 小	–	00217	14.6	5.0	6.8	
	–	10704	14.5	5.6	6.4	
	–	10705	15.2	5.5	6.3	7
B 碗 3(Ⅱ)	75-818	00213	16.8	5.9	8.1	
	75-819	00210	18.5	6.8	8.9	
	75-820	00215	16.8	6.5	7.7	
	75-821	00209	18.7	7.2	9.1	
	75-822	00214	16.7	6.6	8.1	
	–	00211	17.0	6.2	8.0	
	–	00212	17.2	6.4	7.8	
	–	00216	15.4	5.5	6.0	8
B 碗 4(Ⅱ) 小	74-809	00816	14.1	5.0	6.2	
	74-810	00221	14.3	4.9	6.8	
	74-811	10700	14.0	5.2	6.0	3
B 碗 5(Ⅱ)	74-812	10702	9.7	-	-	
	74-813	10703	-	-	4.1	2
B 皿 1(Ⅱ)	75-823	10701	15.8	4.1	7.0	
	75-824	00223	15.3	3.3	6.2	2
B 坏 1(Ⅱ)	75-825	00205	14.9	4.3	6.7	1
総個数						37

SK82 出土のその他の器種

A1 群	水注 1	
	壷類 1	

B 群	壷蓋 1	褐釉灯盞 1
	大形合子 1	褐釉壷 1
	水注 5	陶器捏鉢 1

Tab.11　SK75 出土越州窯系青磁一覧表（調査番号：8910）

分類記号	Fig. 番号	登録番号 (8910)	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	数 (個)
A1 碗 1(Ⅰ)	60-600	10468	-	-	5.4	
	60-601	10466	-	-	5.8	
	60-602	10467	-	-	6.2	
	60-603	00791	-	-	5.4	
	−	10525	-	-	5.4	
	−	10526	-	-	5.2	
A1 碗 1(Ⅱ)	60-604	10469	-	-	6.6	7
A1 碗 2(Ⅰ) 小	60-605	10482	12.0	4.2	5.2	
	60-606	10475	15.0	4.8	6.6	2
A1 碗 2(Ⅰ)	60-607	10473	19.8	6.0	8.3	
	60-608	10471	20.2	6.0	10.0	
	60-609	00139	19.7	6.5	10.0	
	60-610	10472	19.7	6.5	9.0	
	−	10527	18.2	6.1	10.2	
	−	10528	19.4	6.0	9.2	
	−	10529	17.6	8.5	8.6	
	−	10530	-	-	11.0	
	−	10538	-	-	10.0	9
A1 碗 3(Ⅰ) 小	61-611	00135	12.3	4.8	5.5	
	61-612	00148	15.6	5.8	5.8	
	61-613	10477	15.6	6.2	6.4	
	61-614	00608	15.2	5.7	6.1	
	61-615	10481	14.6	5.5	6.2	
	61-616	10478	15.8	6.5	6.4	
	−	00140	15.0	5.7	5.8	
	−	10707	14.0	5.0	3.8	
	−	10534	11.0	4.7	4.8	
	−	10535	12.4	4.7	4.9	
	−	10536	12.2	4.7	5.1	
	−	10537	12.2	-	-	
	−	10480	-	-	5.4	
A1 碗 3(Ⅱ) 小	61-619	10483	14.8	6.0	6.4	
	61-620	10474	17.4	6.0	7.8	15
A1 碗 3(Ⅰ)	61-617	10479	18.2	7.7	7.8	
	61-618	00138	19.2	7.3	9.0	
	−	10533	15.8	-	-	
	−	10531	-	-	6.0	
	−	10532	-	-	6.0	
A1 碗 3(Ⅱ)	−	10539	-	-	6.6	
	−	10540	-	-	6.6	
	−	10541	-	-	6.0	8
A1 碗 4(Ⅰ)	61-621	10488	17.4	6.4	7.8	
	61-622	10476	18.2	6.7	7.4	
	61-623	00609	16.8	7.2	7.4	
	61-624	10487	18.2	7.5	7.6	
	61-625	00603	17.6	6.9	7.0	

分類記号	Fig. 番号	登録番号 (8910)	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	数 (個)
A1 碗 4(Ⅰ)	61-626	00136	17.2	7.5	7.4	
	61-627	00134	17.8	7.8	8.4	
	−	10486	17.4	6.6	7.4	
	−	10489	17.8	7.1	7.8	
	−	10490	17.6	7.8	7.4	
	−	00141	-	-	8.2	
	−	10542	17.4	6.9	7.4	
	−	10543	17.0	7.2	7.6	
	−	10544	-	-	7.2	
	−	10545	-	-	7.7	
	−	10546	-	-	8.2	
	−	10547	-	-	7.6	
	−	10548	-	-	8.0	
	−	10549	-	-	7.7	19
A1 碗 5(Ⅰ)	61-628	10470	-	-	8.2	1
A1 皿 1(Ⅰ)	62-632	10494	14.4	4.3	6.0	
	62-633	10495	14.4	4.6	6.6	
	62-635	10491	14.3	4.1	6.5	
	62-636	00638	13.2	3.8	6.0	
	62-637	10492	14.0	4.2	6.8	
	62-638	10493	14.2	4.1	6.6	
	−	10550	13.4	4.2	6.6	
	−	10551	14.8	-	-	8
A1 稜花皿 1(Ⅰ)	62-634	00288	15.4	4.0	6.9	1
A1 稜花皿 2(Ⅰ)	62-639	10496	16.0	4.3	5.8	
	62-640	00137	17.1	4.8	7.0	2
A1 坏 1(Ⅰ)	62-629	10485	11.4	4.4	5.2	1
A1 坏 2(Ⅱ)	62-630	10497	11.2	-	-	
	62-631	10498	12.0	-	-	2
A2 皿 1(Ⅱ)	62-641	10484	14.6	3.1	7.2	1
B 碗 1(Ⅱ)	63-660	10448	-	-	8.8	
	63-661	10447	-	-	7.4	
	63-662	10445	-	-	7.3	
	63-663	10446	-	-	8.0	4
B 碗 3(Ⅱ) 小	63-666	10451	14.1	5.6	6.0	1
B 碗 3(Ⅱ)	63-667	00145	17.3	5.7	8.4	
	63-668	10450	17.2	6.0	8.0	
	63-669	10449	19.8	7.2	9.8	
	−	10556	-	-	9.3	4
B 碗 4(Ⅱ) 小	63-664	10453	14.2	5.0	5.0	
	63-665	10452	14.2	4.9	5.2	2
B 碗 6(Ⅱ)	63-670	10454	19.4	7.7	8.2	
	63-671	10455	-	-	10.0	2
B 皿 1(Ⅱ)	63-672	00143	15.2	4.0	6.8	
	63-673	00142	15.2	4.15	7.4	2
B 坏 1(Ⅱ)	63-674	10456	14.4	-	-	
	63-675	10457	-	-	7.4	2
総個数						93

SK75 出土のその他の器種

A1 群	坏 (隋代か)1	鉢 2
	小形合子 1	壷蓋 1
	合子 1	水注 3
	小形壷 4	壷類 4

B 群	壷蓋 1	壷類 2
	合子 2	褐釉灯盞 2
	鉢 1	陶器壷 3
	水注 1	陶器捏鉢 3
		薬研 1

SK80 出土のその他の器種

B 群	壷蓋 2	小形壷 1	水注 1	褐釉灯盞 1	陶器捏鉢 3

SK255 その他器種

A1 群	合子 6	壷類 2	B 群	合子 2	水注 11	褐釉香炉蓋 2	陶器壷 6
	蓋 1	鉢 1		蓋 2	壷類 7	褐釉蓋 1	陶器小坏 1
	水注 3			深鉢 1	褐釉灯盞 5	褐釉水注 1	陶器捏鉢 11

Tab.12　SK80 出土越州窯系青磁一覧表（調査番号：8910）

分類記号	Fig. 番号	登録番号 (8910)	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	数 (個)
A1 碗 1(Ⅰ)	69-729	00165	-	-	5.3	
	69-730	00166	-	-	6.4	
A1 碗 1(Ⅱ)	69-731	00168	-	-	6.4	3
A1 碗 2(Ⅰ)	69-732	00163	20.5	7.1	10.9	
	69-733	00169	-	-	9.9	
	69-734	00164	-	-	10.0	3
A1 碗 3(Ⅰ)	69-737	00167	-	-	6.2	1
A1 碗 4(Ⅰ)	69-738	10568	-	-	7.8	1
A1 坏 2(Ⅱ)	69-739	00189	12.5	3.7	5.2	1
B 碗 2(Ⅱ)	69-749	10572	17.8	5.9	7.3	
	69-750	10573	17.2	5.5	7.9	
	69-751	10571	17.9	5.0	7.5	3
B 碗 3(Ⅱ) 小	70-752	10582	14.4	5.5	6.9	
	70-753	10584	14.2	5.4	6.7	
	70-754	10585	14.0	5.4	6.3	
	70-755	10580	14.5	5.5	6.8	
	70-756	10588	14.5	5.3	7.0	
	70-757	10581	14.8	5.1	6.9	
	-	10583	15.0	5.5	6.5	
	-	10586	15.0	5.6	6.8	
	-	10587	14.6	5.4	6.0	
	-	10589	13.9	5.3	6.4	
	-	10590	14.0	5.5	6.1	
	-	00708	14.5	5.5	6.8	
	-	10612	14.2	5.4	6.6	
	-	10613	14.0	5.1	6.6	
	-	10614	14.3	5.3	6.3	
	-	10615	14.4	5.5	6.1	
	-	10616	14.0	5.3	6.2	
	-	10617	14.7	5.5	6.9	
	-	10618	14.2	5.4	6.6	
	-	10619	14.7	5.1	6.5	
	-	10620	14.5	5.6	6.4	
	-	10621	14.3	5.3	6.1	
	-	10622	14.7	5.6	7.0	
	-	10623	13.9	5.2	6.0	
	-	10624	14.2	5.6	6.2	
	-	10625	14.6	6.2	6.4	
	-	10626	14.8	5.5	6.5	
	-	10627	14.5	5.5	6.2	
	-	10628	14.7	5.4	6.3	
	-	10629	14.5	5.5	6.4	
	-	10630	14.4	5.5	6.6	
	-	10631	14.0	5.5	6.5	
	-	10632	14.7	5.6	6.4	
	-	10633	14.3	5.4	6.2	
	-	10634	14.8	5.5	6.2	
	-	10635	14.5	5.3	6.5	
	-	10636	14.4	5.2	7.0	
	-	10637	14.5	5.3	6.4	
	-	10638	14.1	5.3	6.1	
	-	10639	14.4	5.4	6.1	
	-	10640	14.0	5.1	6.4	
	-	10641	14.0	5.1	6.3	
	-	10642	13.8	5.2	6.8	
	-	10643	14.2	5.6	6.8	
	-	10644	14.7	5.5	6.5	
	-	10645	15.0	5.6	6.8	
	-	10646	15.4	5.5	6.4	
	-	10647	14.4	5.4	6.4	
	-	10648	14.2	5.3	6.8	
	-	10649	13.6	5.2	6.6	
	-	10650	14.0	5.3	6.5	
	-	10651	15.0	5.7	6.3	
	-	10652	14.6	5.5	6.4	
	-	10653	15.2	5.7	6.5	
	-	10654	14.4	5.3	7.3	
	-	10655	14.4	5.7	6.4	
	-	10656	14.6	5.6	6.2	
	-	10657	14.8	5.8	6.6	
	-	10658	15.6	5.4	6.6	
	-	10659	14.8	5.2	6.5	
	-	10660	14.0	5.4	6.8	

分類記号	Fig. 番号	登録番号 (8910)	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	数 (個)
B 碗 3(Ⅱ) 小	-	10661	13.8	5.5	6.6	
	-	10662	14.4	5.6	6.4	
	-	10664	14.7	5.6	6.3	64
B 碗 3(Ⅱ)	70-758	10577	17.2	6.2	7.8	
	70-759	00187	17.7	6.4	8.5	
	70-760	10574	17.3	6.0	8.1	
	70-761	00188	18.3	6.2	8.8	
	70-762	00185	17.9	6.5	8.0	
	70-763	00186	19.4	6.7	9.0	
	-	10575	18.2	6.3	8.2	
	-	10576	17.2	6.4	8.0	
	-	10578	17.4	6.3	8.5	
	-	10579	17.0	5.8	7.7	
	-	10591	17.2	6.4	8.5	
	-	10592	17.5	6.5	8.2	
	-	10593	16.5	6.0	8.0	
	-	10594	16.8	6.0	8.0	
	-	10595	17.0	6.5	7.9	
	-	10596	17.0	6.1	8.0	
	-	10597	17.0	6.2	8.1	
	-	10598	17.0	6.4	7.7	
	-	10599	17.5	6.5	8.5	
	-	10600	17.0	6.1	8.2	
	-	10601	17.0	6.5	7.5	
	-	10602	17.1	6.6	7.8	
	-	10603	17.0	6.2	8.0	
	-	10604	17.0	6.0	8.1	
	-	10605	17.0	6.2	8.1	
	-	10606	16.8	5.8	8.0	
	-	10607	17.0	6.0	7.9	
	-	10608	17.2	6.4	8.0	
	-	10609	17.2	6.4	7.8	
	-	10610	18.0	6.2	8.0	
	-	10611	16.2	6.0	8.0	
	-	10663	17.4	5.3	7.6	32
B 碗 4(Ⅱ) 小	69-741	00183	13.5	5.0	5.9	
	69-742	00178	14.9	6.5	6.9	
	69-743	00172	14.6	4.9	6.0	
	69-744	00184	15.0	5.0	6.1	
	69-745	00177	13.9	5.0	6.0	
	69-746	00175	14.5	5.1	6.4	
	69-747	00181	14.0	5.0	5.9	
	69-748	00180	14.6	5.2	6.1	
	-	00171	15.2	5.0	5.8	
	-	00173	15.5	5.0	6.2	
	-	00174	14.5	5.2	6.5	
	-	00176	15.0	4.9	6.1	
	-	00179	15.5	5.2	6.4	
	-	00182	14.3	5.4	6.0	
	-	10665	14.4	5.0	6.8	
	-	10666	14.7	5.3	6.7	
	-	10667	14.8	5.3	6.9	
	-	10668	14.6	5.5	6.7	
	-	10669	14.7	5.8	6.2	
	-	10670	14.9	5.1	6.6	
	-	10671	14.0	5.4	6.0	
	-	10672	14.5	5.0	6.0	
	-	10673	14.5	5.5	6.4	
	-	10674	15.2	5.1	6.5	
	-	10675	15.0	5.3	6.3	
	-	10676	14.8	5.1	6.3	26
B 碗 5(Ⅱ)	69-740	00190	11.6	-	-	1
B 碗 6(Ⅱ)	70-764	00170	-	-	8.4	1
B 皿 1(Ⅱ)	70-767	00153	15.1	3.9	6.7	
	70-768	00154	14.9	3.9	6.9	
	70-769	00152	15.2	3.9	6.4	
	70-770	00150	15.2	4.1	7.0	
	70-771	00156	15.0	4.4	7.4	
	-	00151	15.3	4.0	7.0	
	-	00155	14.8	4.0	6.2	7
B 坏 1(Ⅱ)	70-765	00158	14.5	3.9	7.0	
B 坏 1(Ⅱ)	70-766	00157	14.4	4.1	6.9	2
総個数						145

※ SK80 出土のその他の器種は P197 に掲載

Tab.13 SK246 出土越州窯系青磁一覧表（調査番号：9130）

分類記号	Fig. 番号	登録番号 (9130)	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	数 (個)
A_1 碗 1(Ⅰ)	149-1569	10143	15.0	4.5	5.4	
A_1 碗 1(Ⅱ)	149-1570	10144	-	-	6.4	2
A_1 皿 2(Ⅰ)	149-1572	10146	15.0	4.1	5.8	1
A_3 碗 3(Ⅱ)	149-1573	10149	-	-	7.9	1
B 碗 1(Ⅱ)	149-1574	00063	16.6	6.6	7.1	
	149-1575	00073	16.6	6.1	7.2	
	149-1576	00066	16.6	6.4	7.3	
	149-1577	00062	16.7	6.4	7.0	
	149-1578	00070	16.0	5.8	7.2	
	149-1579	00061	16.4	6.7	7.2	
	149-1580	00079	17.5	6.3	7.3	
	149-1581	00074	16.0	6.7	7.3	
	149-1582	00067	16.4	6.3	6.8	
	149-1584	00071	17.4	6.6	7.4	
	-	00064	18.0	7.0	8.0	
	-	00065	17.0	6.7	7.6	
	-	00068	16.8	6.8	7.3	

分類記号	Fig. 番号	登録番号 (9130)	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	数 (個)
B 碗 1(Ⅱ)	-	00069	16.9	6.4	7.4	
	-	00072	16.4	6.6	7.0	
	-	00075	16.8	6.5	7.2	
	-	00078	16.5	6.6	7.0	
	-	00081	17.0	6.7	7.4	
	-	00082	16.1	6.3	7.0	
	-	00083	17.2	6.1	7.2	
	-	00084	16.4	6.6	7.2	
	-	00085	17.0	6.7	7.2	
	-	00086	17.0	6.5	7.6	
	-	10150	-	-	6.6	24
B 碗 2(Ⅱ)	149-1583	00076	16.8	6.5	7.9	
	149-1585	00077	17.4	6.5	8.1	2
B 碗 3(Ⅱ)	149-1586	10151	18.4	6.2	9.6	1
B 碗 4(Ⅱ)小	149-1587	00080	15.1	5.1	6.8	
	-	10152	13.6	-	-	2
B 碗 5(Ⅱ)	149-1588	10153	10.0	-	-	1
総個数						34

SK246 出土のその他の器種

A_1 群	合子 1	香炉蓋 1

B 群	水注 2	褐釉壷 1

Tab.14 SK255 出土越州窯系青磁一覧表（調査番号：9130・9236）

分類記号	Fig. 番号	登録番号 (0000)	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	数 (個)
A_1 碗 1(Ⅰ)	157-1691	923600097	17.4	7.4	6.4	
	157-1692	10219	17.8	7.0	6.6	
	157-1695	10222	-	-	5.6	
	157-1696	10221	-	-	6.0	
A_1 碗 1(Ⅱ)	157-1693	10224	16.4	5.6	6.0	
	157-1694	10223	15.8	4.9	6.2	6
A_1 碗 2(Ⅰ)	157-1697	00010	19.2	7.2	10.0	
	157-1698	10226	20.0	7.1	10.0	
	157-1699	10227	19.2	7.3	19.6	
	157-1700	10225	20.8	7.4	11.0	
	157-1701	00109	20.1	7.1	8.6	
	157-1702	00100	20.0	8.1	8.8	
	-	10228	-	-	8.4	
	-	10229	-	-	10.4	
	-	10230	-	-	9.0	9
A_1 碗 4(Ⅰ)	158-1704	10235	-	-	6.0	1
A_1 碗 5(Ⅰ)	158-1705	10233	18.4	7.2	6.6	1
A_1 碗 6(Ⅰ)	158-1706	10236	-	-	7.9	1
A_1 皿 2(Ⅰ)	159-1726	00018	13.2	3.3	5.8	1
A_1 皿 3(Ⅰ)	159-1729	00015	13.2	3.6	7.1	1
A_1 稜花皿 1(Ⅰ)	159-1728	10237	-	-	5.8	
A_1 稜花皿	159-1727	10238	-	-	-	2
A_1 坏 2(Ⅱ)	159-1731	10239	11.4	-	-	1
A_2 碗 2(Ⅱ)小	158-1707	10255	16.2	5.2	5.2	
	158-1708	10256	16.1	5.1	6.9	
	158-1709	00012	16.0	6.1	7.0	
	158-1710	10254	16.0	6.6	7.6	4
A_2 碗 2(Ⅱ)	158-1711	10253	17.9	6.5	5.5	
	158-1712	10251	19.6	7.3	8.0	
	158-1713	10252	18.4	7.2	7.0	
	-	10232	-	-	9.9	
	-	10257	-	-	6.0	5
A_3 碗 1(Ⅱ)	158-1714	00093	20.0	7.1	10.1	
	158-1715	923600095	21.2	8.5	8.2	
	-	10231	-	-	10.0	
	-	10260	-	-	8.6	4
A_3 碗 3(Ⅱ)	158-1716	10259	18.6	7.2	8.4	
	158-1717	00089	18.6	6.7	8.3	
	158-1718	00090	18.7	6.6	8.0	
	158-1719	00087	19.1	6.8	8.5	
	159-1720	00008	18.6	6.7	10.3	
	159-1721	00112	19.2	6.7	8.8	
	159-1722	00092	18.3	5.9	7.6	
	159-1723	10258	18.4	6.1	7.6	

分類記号	Fig. 番号	登録番号 (0000)	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	数 (個)
A_3 碗 3(Ⅱ)	159-1724	00111	18.8	6.1	8.5	
	159-1725	00088	19.1	6.8	8.6	
	-	00138	18.9	6.6	8.2	
	-	00113	-	-	8.8	12
B 碗 1(Ⅱ)	160-1745	10262	17.2	6.4	7.0	
	160-1746	00102	17.0	6.3	5.9	
	160-1747	10263	16.6	6.6	7.2	
	160-1748	00103	16.4	6.0	6.6	
	160-1749	00023	16.4	6.4	6.4	
	160-1750	00009	16.9	6.3	6.0	
	160-1751	10264	16.6	6.5	5.8	
	160-1752	00026	16.5	7.3	6.0	
	-	00110	17.0	6.1	5.8	
	-	10010 (9236)	16.0	6.2	6.8	10
B 碗 2(Ⅱ)	160-1753	00105	15.5	5.5	5.8	
	160-1754	00106	15.8	5.7	6.7	
	160-1755	00108	18.0	6.0	9.1	
	160-1756	00107	18.1	6.0	8.6	
	160-1757	00096	20.0	8.0	9.5	
	160-1758	00098	18.7	7.1	9.2	
	160-1759	00101	18.3	6.1	8.7	
	160-1760	00095	19.0	6.8	8.9	
	160-1761	00097	19.0	6.6	9.5	
	-	00011	19.8	6.0	9.2	
	-	00091	18.6	5.9	8.7	
	-	00094	17.3	6.2	8.4	
	-	10265	15.4	5.2	6.8	
	-	10266	15.6	5.0	7.0	
	-	10267	18.4	6.0	8.0	
	-	10268	19.6	6.1	10.4	
	-	10009 (9236)	18.0	6.4	9.0	17
B 碗 4(Ⅱ)小	161-1762	00104	15.0	5.3	5.7	
	161-1763	923610008	16.0	5.1	6.6	
	161-1764	00099	16.1	5.6	7.0	
	-	10272	15.1	-	-	4
B 碗 5(Ⅱ)	161-1766	10274	9.6	4.2	3.6	
	161-1767	10275	11.2	4.0	4.6	
	161-1768	10276	11.0	-	-	3
B 碗 6(Ⅱ)	161-1765	10261	-	-	7.6	1
B 皿 1(Ⅱ)	161-1769	10273	15.0	-	-	1
B 坏 1(Ⅱ)	161-1770	10277	15.4	4.2	7.4	
	-	10278	-	-	7.2	2
B 施釉陶器皿	161-1771	00022	15.3	4.0	7.1	1
B ？碗	161-1772	00025	15.6	5.0	7.0	1
総個数						88

第三章　おわりに

南館（仮称）部分の検出遺構と出土遺物のうち、建物に関連するものを除く遺構、主に土坑についての報告を行ってきた。中国産陶磁器をはじめとする出土遺物の量には膨大なものがあるが、できるだけ遺物を掲載し、今後に活かせる形で刊行するよう努めた。

本文5頁に示したように、鴻臚館跡検出遺構は大まかに5時期に区分され、南館部分においては第Ⅰ～Ⅲ期の掘立柱建物や布掘り塀、東門、礎石建物などの建物遺構を確認しているが、第Ⅳ・Ⅴ期については前年度報告の区画溝SD15052・15098を除き、明確な建物遺構を確認していない。今回報告した土坑群は、概ねこの第Ⅳ・Ⅴ期に位置づけられる遺構であり、南館出土遺物の大半がこれらの遺構から出土したものである。土坑出土遺物のうち、国産土器である土師器・須恵器の占める割合は極端に低く、編年的な時期の比定が困難な遺構が多く、中国産陶磁器等で大まかな時期を比定せざるをえない。今回報告を行った計77の遺構のうち、出土土器類から第Ⅳ期（9世紀後半～10世紀前半）に位置付けられるものは21、第Ⅴ期（10世紀後半～11世紀前半）は23であり、その他の33は第Ⅳ～Ⅴ期のものとみられるが詳細時期不明である（第Ⅳ期遺構に切られるものを5含む）。うち、第Ⅳ期に含めた土坑SK155・224は時期的にやや古相であり、第Ⅲ期（8世紀後半～9世紀前半）に遡る可能性を持つ。

これらの土坑の用途は、多くが廃棄物を処理したものであるが、SK53・54・208等は方形プランの整った形状を持つ土坑であり、本来他の目的で造られたものがゴミ穴に転用された可能性を持つものである。その他、馬歯等の獣骨・魚骨等の食物残滓とみられる自然遺物が出土した土坑SK56・75等は生活ゴミを廃棄するための土坑とみられ、建物を壊した際に礎石を埋め込んだ土坑SK62、不要になった瓦を廃棄した瓦溜りであるSK24・27・36・37・66など、様々な性格のものがある。第Ⅳ期の土坑は陶磁器等の廃棄遺物に獣骨類等の自然遺物が混じるゴミ穴が多いのに対し、第Ⅴ期の土坑は瓦を処理するための瓦溜りが多いことは指摘できよう。また、土坑は南館の調査区全体に広がって位置しており、特定のエリアに集中するわけではないが、強いて言えば第Ⅳ期の土坑は第Ⅲ期建物基壇と重複する位置に掘られているものが多い傾向が伺えよう（Fig.5参照）。

中国産陶磁器、特に越州窯系青磁が大量に出土した土坑は、巻頭図版に掲げたSK38・56・61・75・80・82・255、及びSK246がある。いずれも第Ⅳ期に属するが、出土した陶磁器が二次的に火を受けていることから、倉庫等に保管されていた商品が火事にあい、一括投棄されたものとみられる。越州窯系青磁については写真や図を用いて分類を示したが、産地・形態等による差異があり、これらの土坑から出土した越州窯系青磁の組成には顕著な差が認められる。ひとつは福建省産とみられる粗製の越州窯系青磁（B群）が過半数を占める土坑で、SK38・80・82等がこれにあたる。特にB群の碗が大半を占めるSK80の構成は特異である。もう一つはSK56・75・255等で、産地や器種にバリエーションがあり、複数の産地の様々な器種を集めたような構成である。また、第Ⅴ期のSK160・208からも相当量の遺物が出土しているが、破片の状態で廃棄されており、完形品が少ない。廃棄の様相が異なるものと考えられる。その他の陶磁器類にも特筆すべきものが多々あるが、本文等を参照して頂きたい。

今回報告した南館出土の瓦は軒丸瓦14型式、軒平瓦15型式があるが、鴻臚館式軒丸瓦と軒平瓦が圧倒的多数を占める。軒瓦については谷部の調査で老司系などの型式が加わっており、過去の表採資料を含めれば更に種類が多い。その他、鬼瓦や文字を線刻した瓦片（Fig.16-65等）、墨書のある磚（Fig.80-887）、滑石製石鍋の把手付き鉢（Fig.164-1831）など特異な遺物も出土している。他方、瓦叩き目の分類や、自然遺物の分析は課題として残った。中央谷や北館の出土遺物との比較検討も必要である。果たせなかった課題については今後整理報告書を刊行していく中で補足していきたい。

PLATES

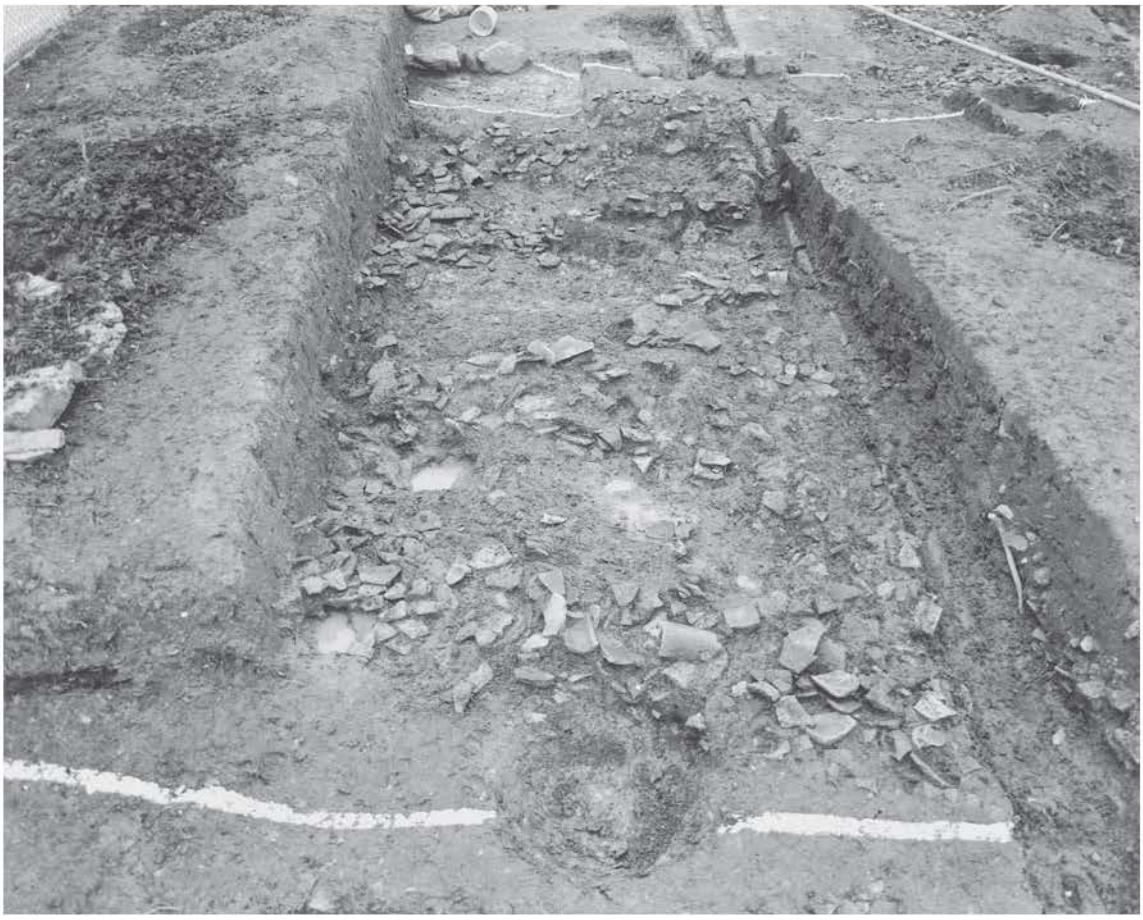
（図版）

第5次調査作業風景

1. 福岡城跡と鴻臚館跡（東から）

2. 鴻臚館跡遠景（南から）

PL. 2



1. 土坑 SK37（東から）

2. 土坑 SK55（西から）

1．土坑 SK56 完掘状況（北から）

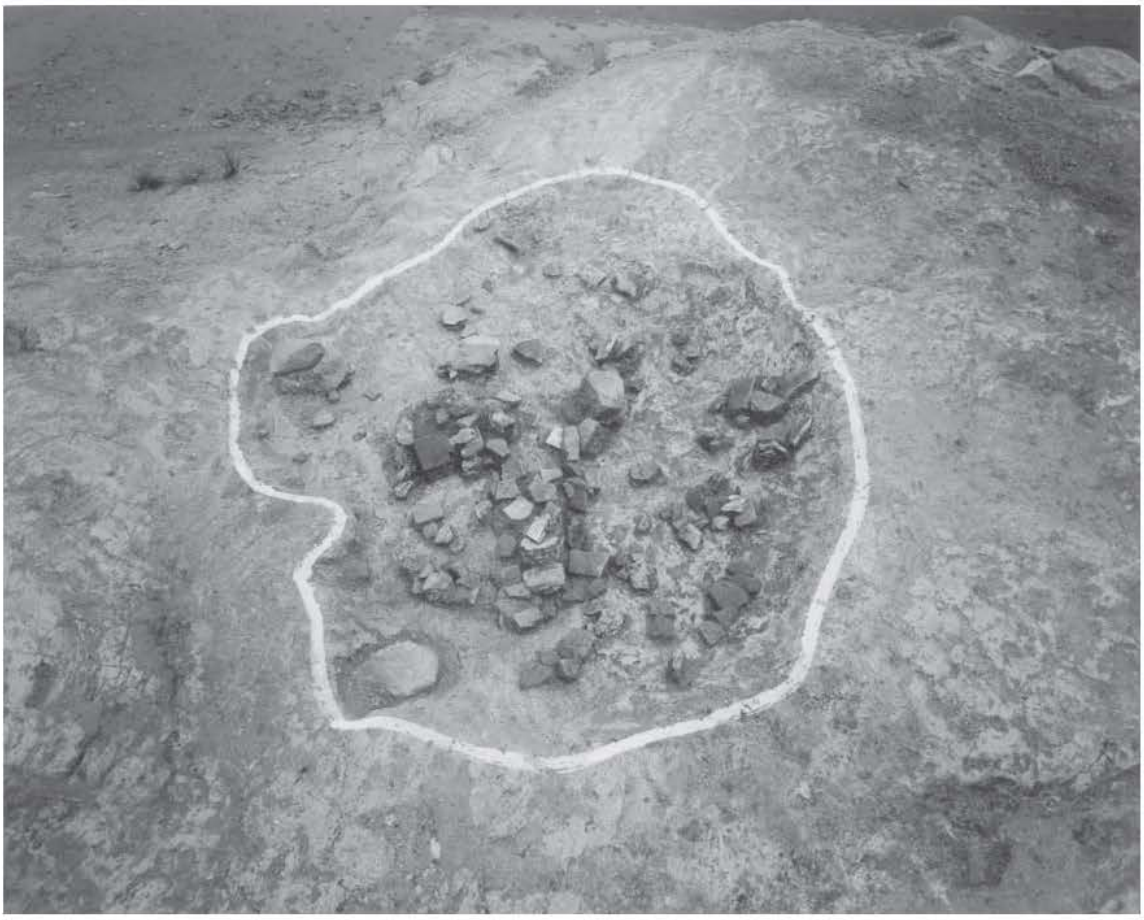
2．土坑 SK56 遺物出土状況

3．土坑 SK56 遺物出土状況

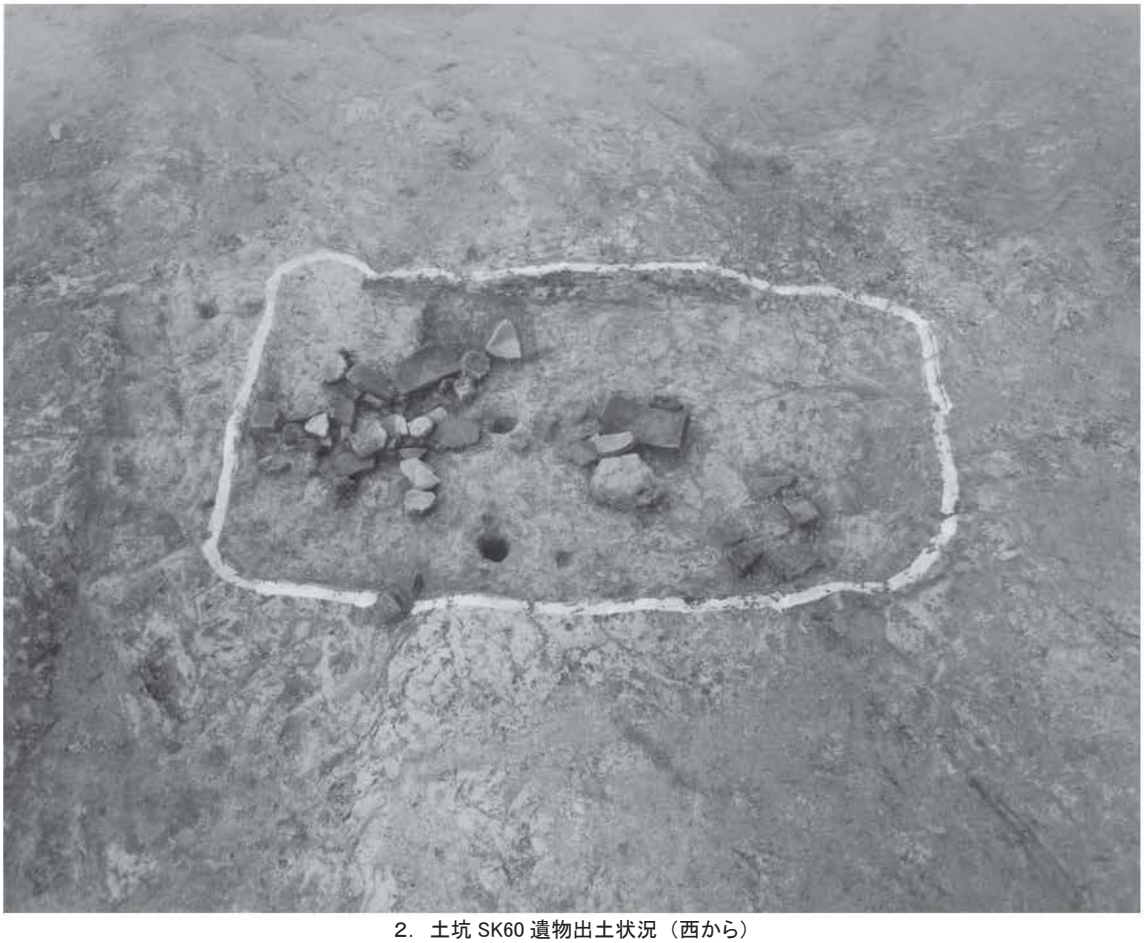
4．土坑 SK56 馬歯等出土状況

5．土坑 SK56 馬歯出土状況

PL. 4



1. 土坑 SK59 遺物出土状況（南から）



2. 土坑 SK60 遺物出土状況（西から）

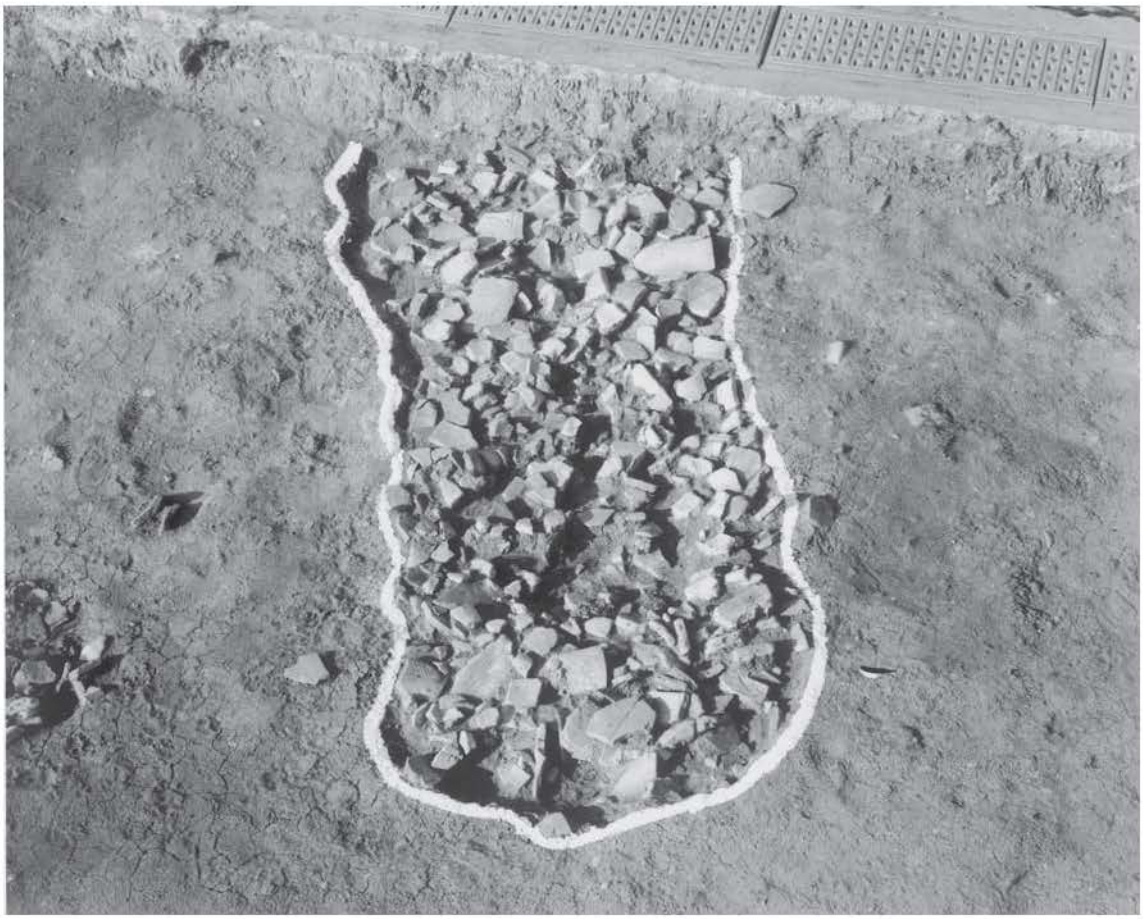
1. 土坑 SK61
遺物出土状況（南から）

2. 土坑 SK61
遺物出土状況（西から）

3. 土坑 SK61
完掘状況（北から）

PL. 6

1．土坑 SK62 完掘状況（北から）



2．土坑 SK66 遺物出土状況（南東から）

1．土坑 SK75 土層断面（南東から）

2．土坑 SK75 土層断面（南西から）

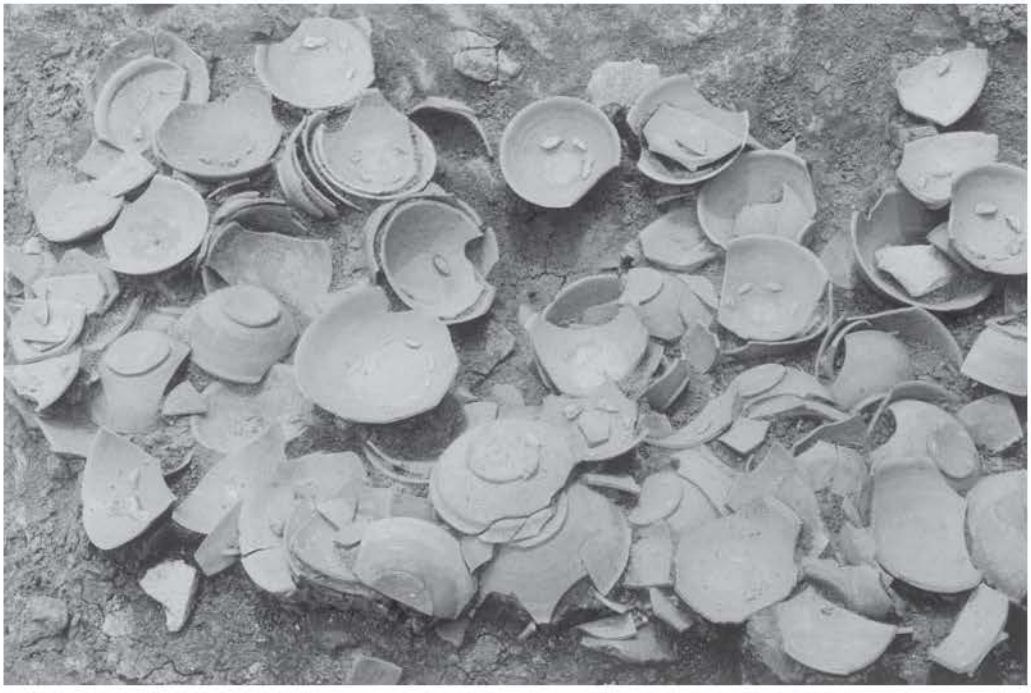
3．土坑 SK75 土層断面（南から）

4．土坑 SK75 炭化物出土状況（西から）

5．土坑 SK75 馬歯出土状況

1. 土坑 SK80 周辺
（東から）

2. 土坑 SK80
遺物出土状況
（北東から）



3. 土坑 SK80
遺物出土状況
（東から）

1．土坑 SK82 遺物出土状況（東から）

2．土坑 SK82 遺物出土状況（南から）

PL. 10

1. 土坑 SK82 土層断面（南から）

2. 土坑 SK82 遺物出土状況（南西から）

3. 土坑 SK82 遺物出土状況（南から）

4. 土坑 SK82 遺物出土状況（北東から）

5. 土坑 SK82 遺物出土状況（南西から）

6. 土坑 SK82 遺物出土状況（北東から）

7. 土坑 SK82 遺物出土状況（西から）

8. 土坑 SK82 遺物出土状況（南西から）

1. 土坑 SK91・98
（北から）

2. 土坑 SK91
遺物出土状況
（北東から）

3. 土坑 SK100
馬歯出土状況

PL. 12

1. 土坑 SK103・104・107（南から）

2. 土坑 SK105 遺物出土状況（南から）

1. 土坑 SK160 遺物出土状況（東から）

2. 土坑 SK159・160 土層断面（東から）

PL. 14

1. 土坑 SK160 遺物出土状況（西から）

2. 土坑 SK160 イスラム陶器出土状況

3. 土坑 SK160 イスラム陶器出土状況

4. 土坑 SK160 イスラム陶器出土状況

5. 土坑 SK160 イスラム陶器出土状況

6. 土坑 SK155 イスラム陶器出土状況

1．土坑 SK207 遺物出土状況（北から）

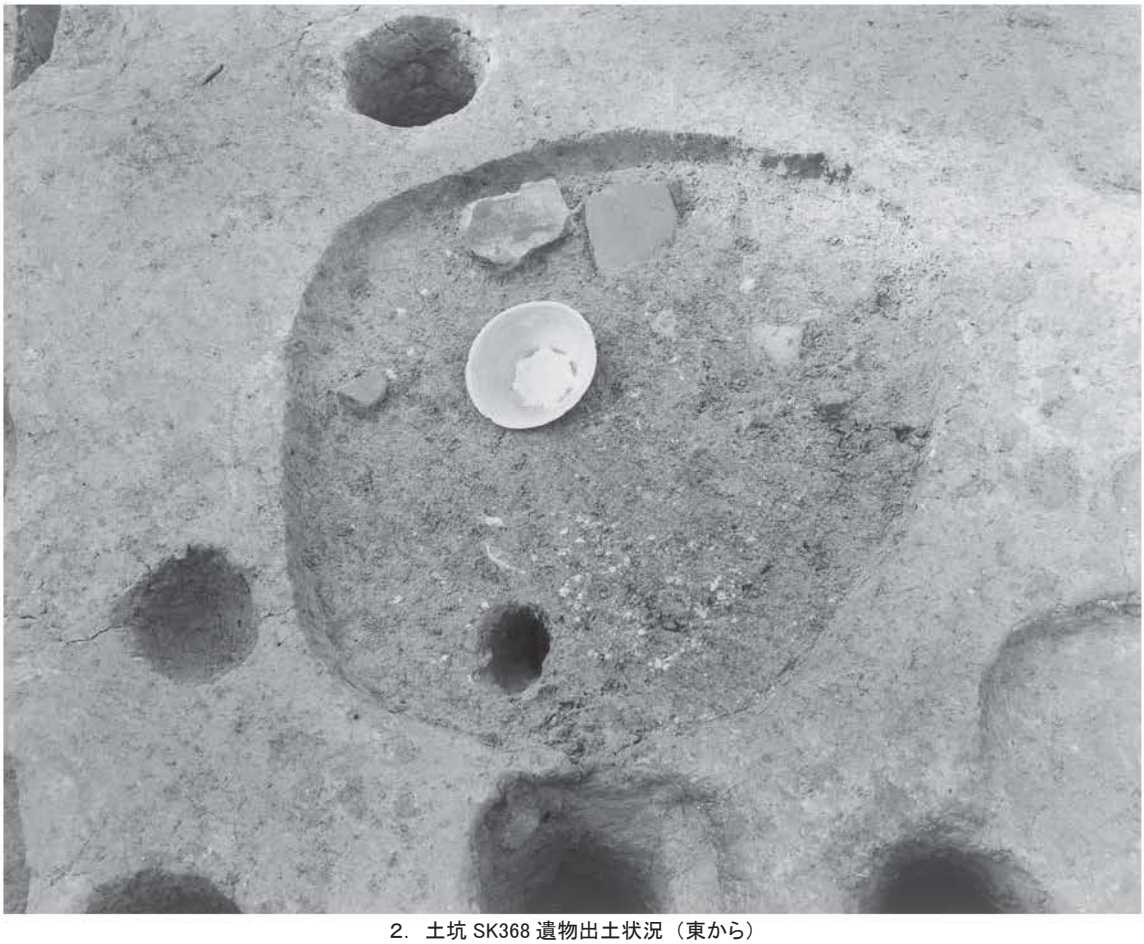
2．土坑 SK208 土層断面（南から）

PL. 16

1．土坑 SK239 土層断面（南から）

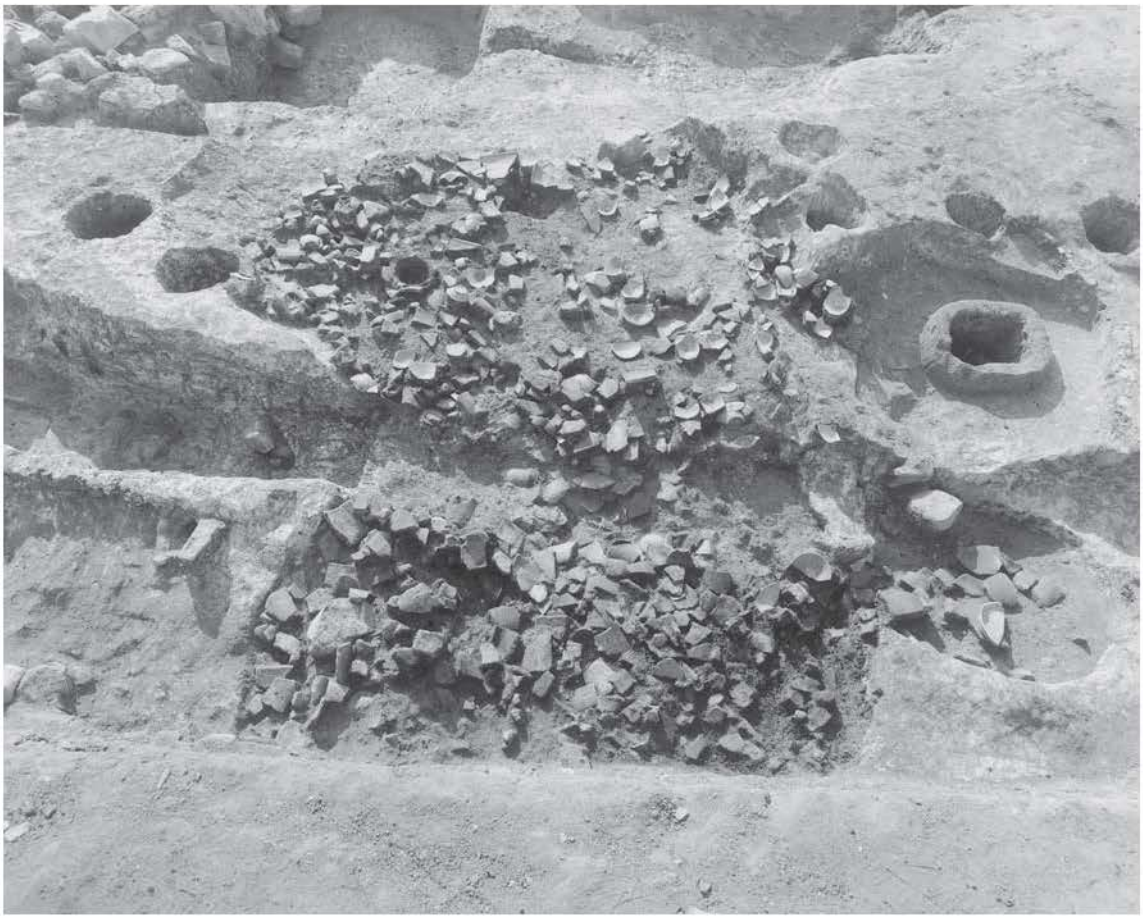
2．土坑SK 246 遺物出土状況

1. 土坑 SK243 遺物出土状況（北から）

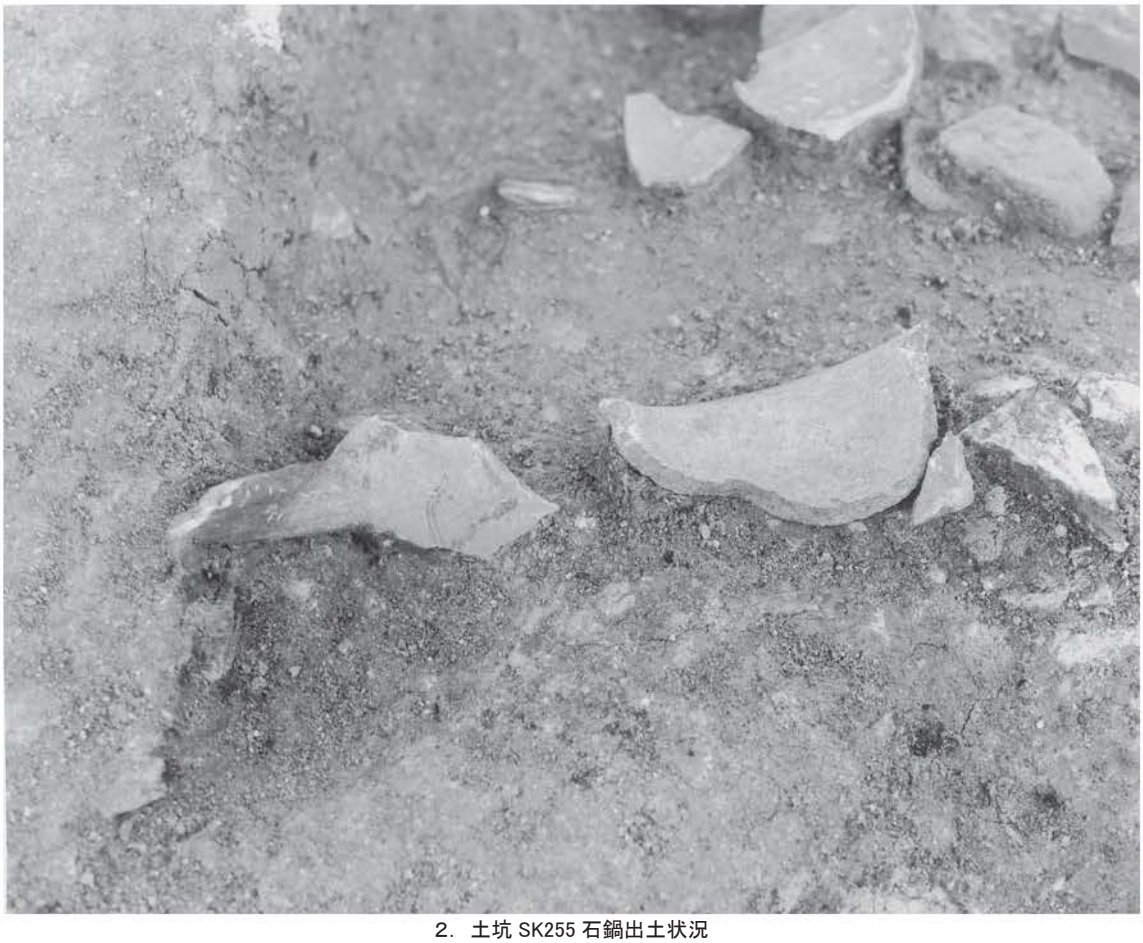


2. 土坑 SK368 遺物出土状況（東から）

PL. 18



1．土坑 SK255 遺物出土状況（北から）



2．土坑 SK255 石鍋出土状況

Fig.15-44(SK37)

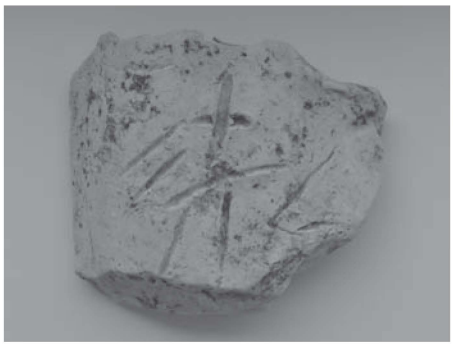


Fig.16-65(SK37)

Fig.30-231(SK53)

Fig.30-223(SK53)

Fig.40-331(SK56)

Fig.40-332・337(SK56)

Fig.40-333(SK56)

Fig.40-334(SK56)

Fig.39-298(SK56)

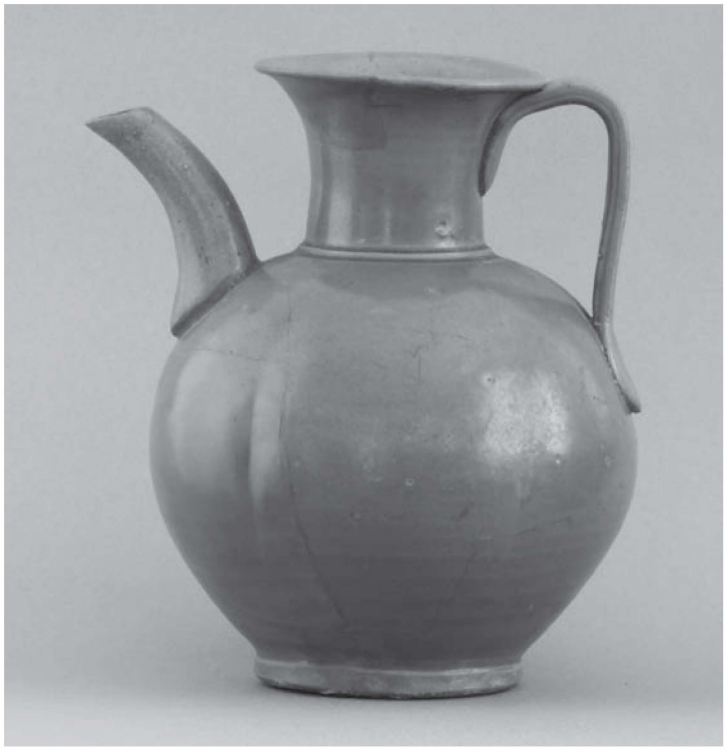


Fig.41-341(SK56)

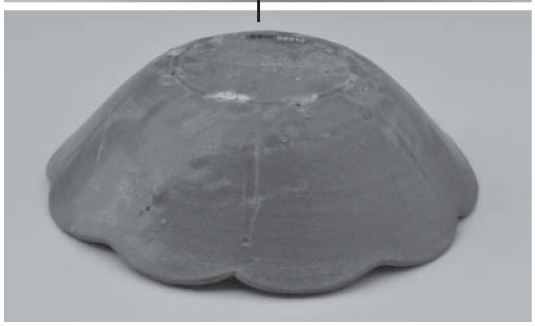


Fig.40-327(SK56)

Fig.43-388(SK56)

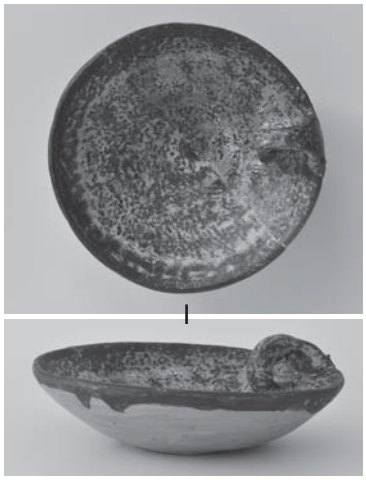


Fig.43-390(SK56)

Fig.43-396(SK56)

Fig.65-713(SK75)

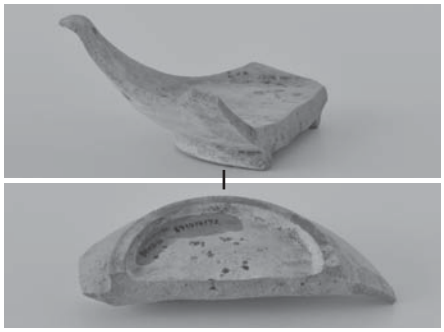


Fig.58-561(SK66)

Fig.62-642(SK75)

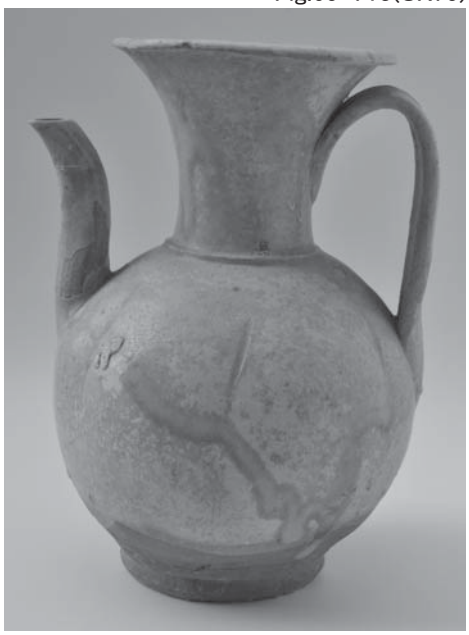


Fig.75-828(SK82)

Fig.75-827(SK82)

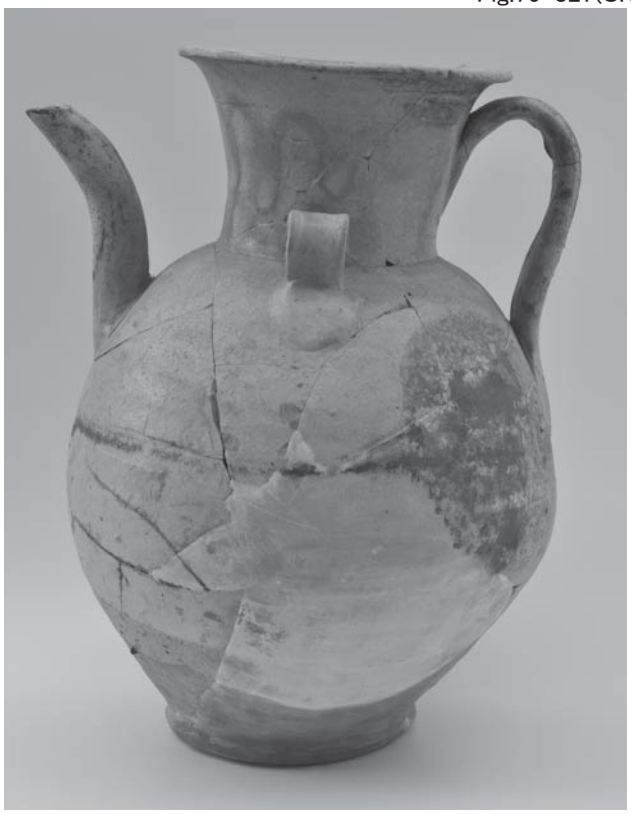


Fig.76-830(SK82)

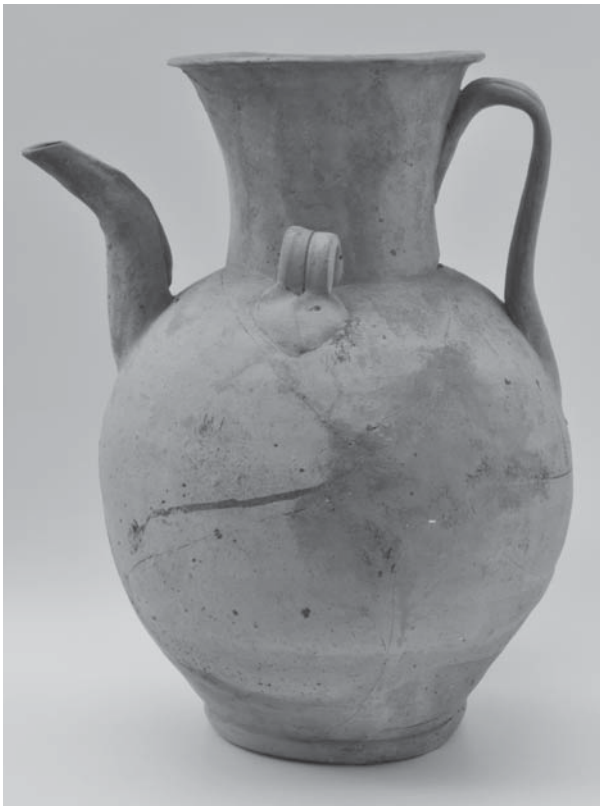


Fig.76-832(SK82)

Fig.76-834(SK82)

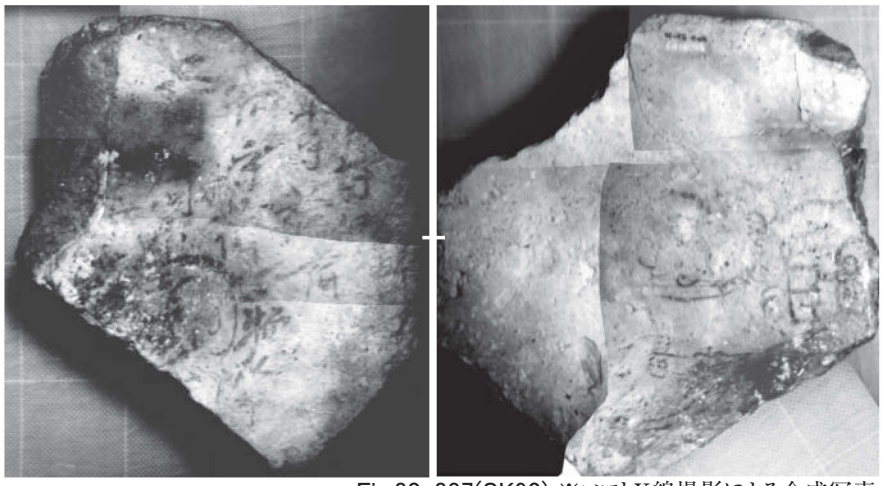


Fig.80-887(SK90) ※ソフトX線撮影による合成写真

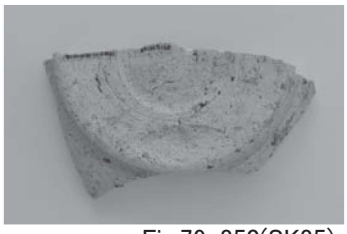


Fig.79-850(SK85)

Fig.86-913(SK97)

Fig.82-894(SK91)

Fig.96-972(SK105)

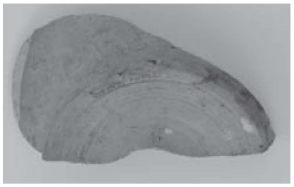


Fig.100-999(SK151) Fig.100-1002(SK151)

Fig.100-1005(SK151)

Fig.104-1055(SK155)

Fig.107-1079(SK159)

Fig.113-1238(SK160)

Fig.122-1298(SK160)

PL. 22

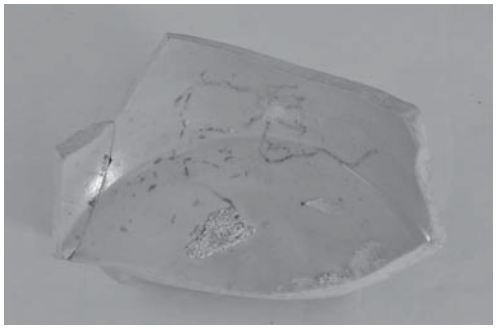
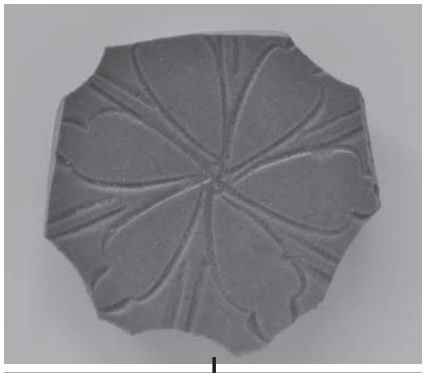


Fig.127-1343(SK208)

Fig.127-1352(SK208)



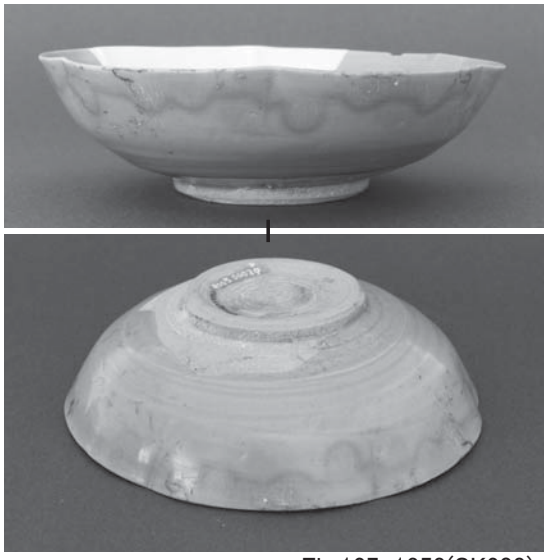


Fig.127-1358(SK208)

Fig.128-1399(SK208)

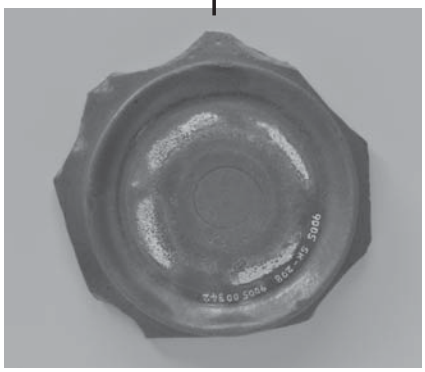


Fig.128-1394(SK208)

Fig.127-1359(SK208)

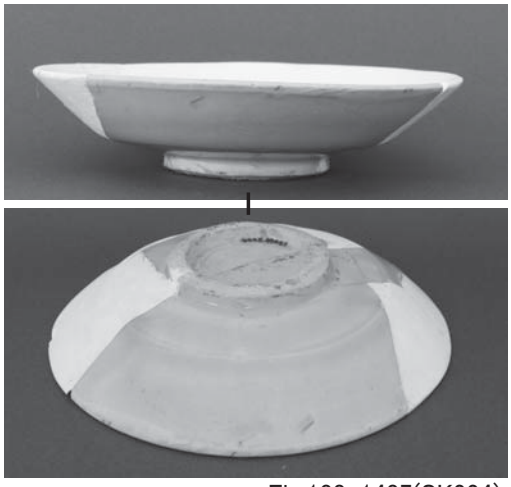


Fig.138-1487(SK224)

Fig.128-1397(SK208)

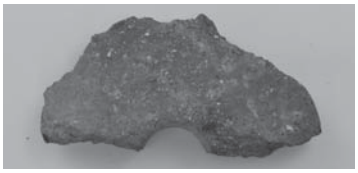


Fig.129-1418(SK208)

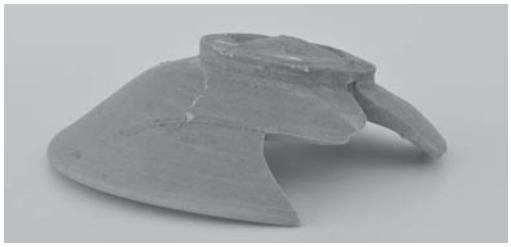


Fig.140-1509(SK229)

Fig.138-1497(SK224)

Fig.140-1513(SK229)

Fig.144-1532(SK243)

Fig.144-1534(SK243)

Fig.144-1538(SK243)

Fig.149-1565(SK246)

Fig.156-1650(SK255)

Fig.157-1691(SK255)

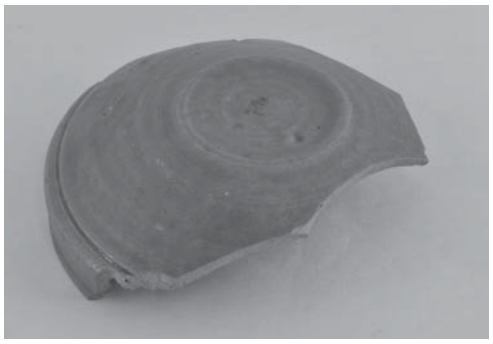


Fig.159-1733(SK255)

Fig.150-1593(SK246)

Fig.150-1599(SK249)

Fig.159-1744(SK255)

PL. 24

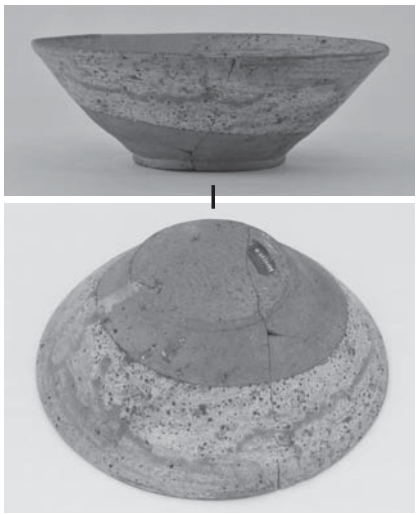


Fig.161-1764(SK255)

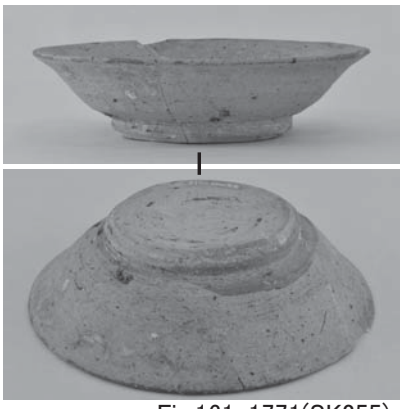


Fig.161-1771(SK255)

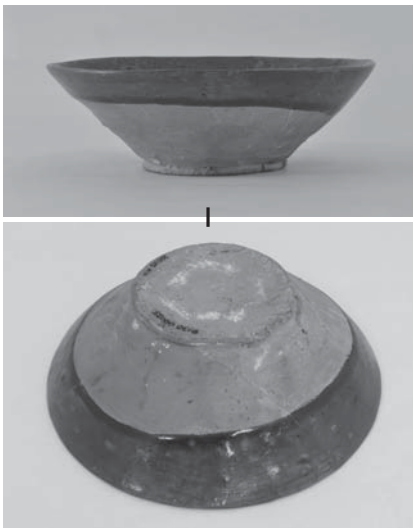


Fig.161-1772(SK255)

Fig.162-1791(SK255)

Fig.161-1775(SK255)

Fig.162-1802(SK255)

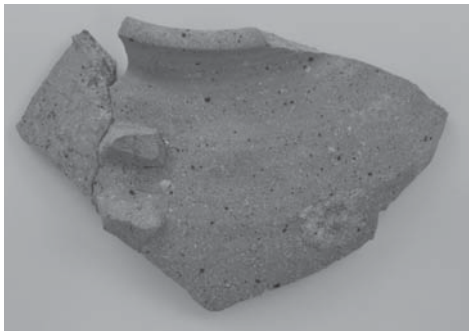


Fig.162-1796(SK255)

Fig.162-1803(SK255)

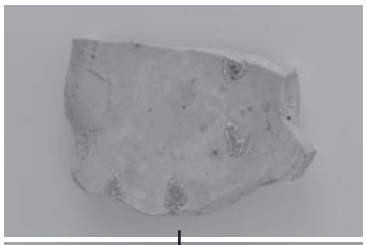
Fig.162-1797(SK255)

Fig.164-1831(SK255)

Fig.171-1908(SK368)

Fig.172-1917(表土)

Fig.173-1931(SK263)



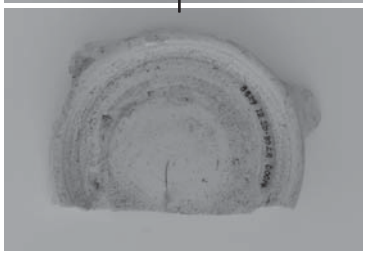
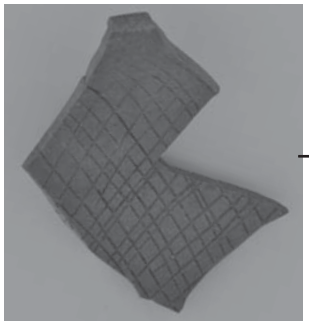


Fig.174-1969(SD30)

Fig.172-1918(表土)

Fig.174-1971(攪乱)



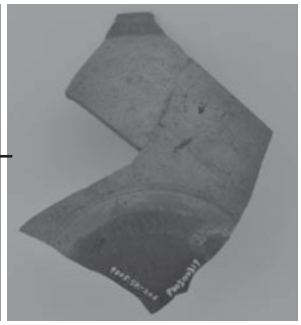
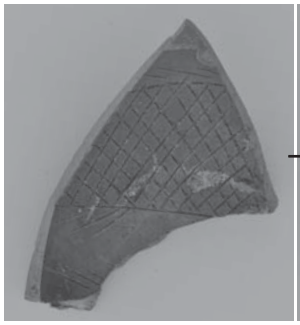


Fig.175-2015(SK206)



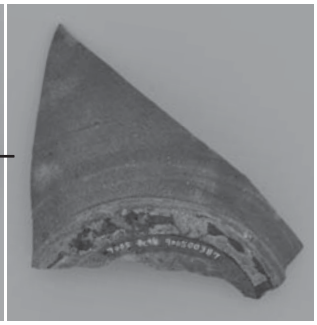


Fig.175-2016(表採)

Fig.175-2013(整地層)

Fig.176-2025(表採)

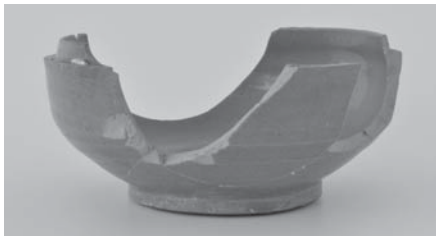
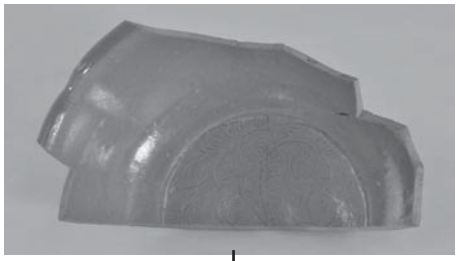


Fig.176-2041(包含層)



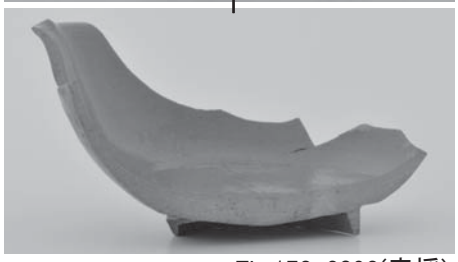


Fig.178-2093(表採)

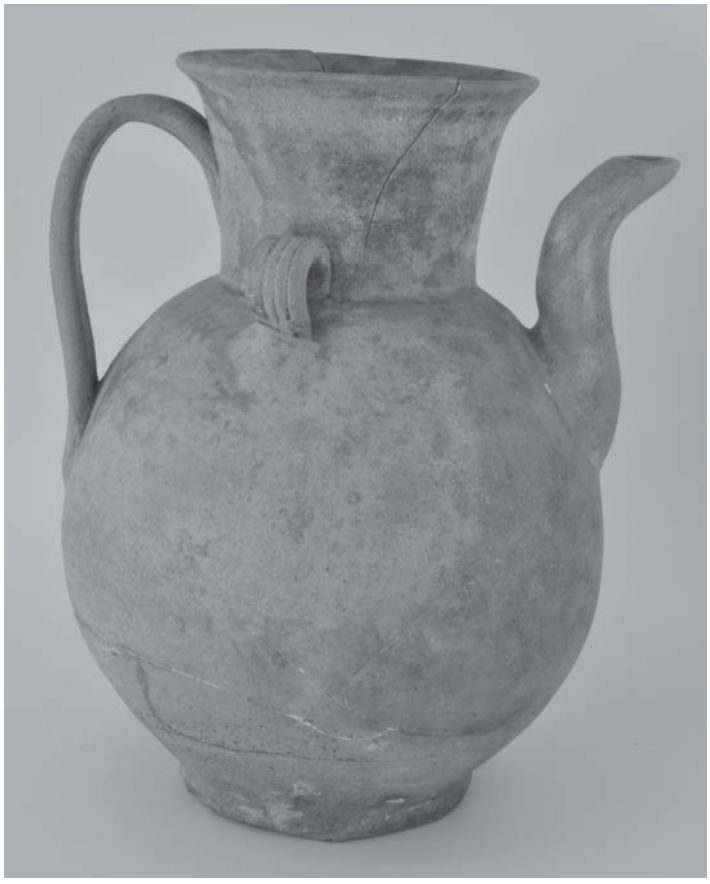
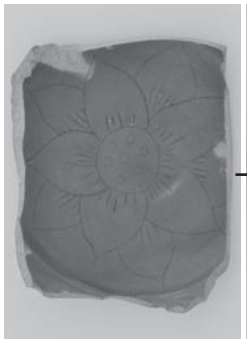


Fig.180-2140(整地層)



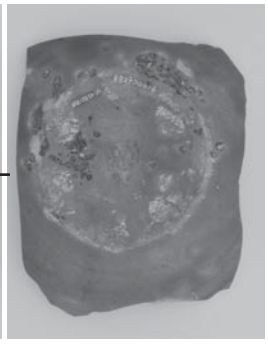


Fig.179-2110(SD30)

PL. 26

Fig.181-2154(表土)

Fig.182-2174(SK218)

Fig.182-2171(SK220)

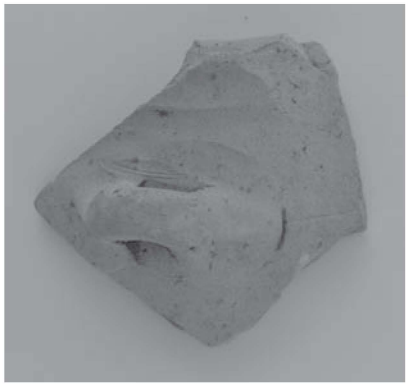


Fig.182-2178(SK33)

Fig.182-2181(整地層)

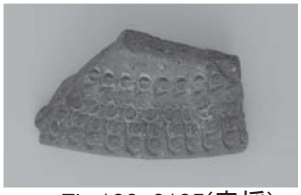


Fig.183-2185(表採)

Fig.183-2188(表土)

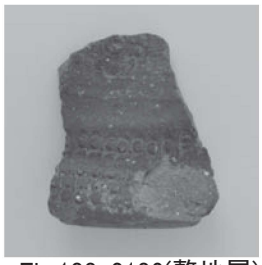


Fig.183-2186(整地層)

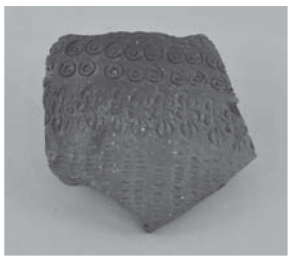


Fig.183-2187(検出面)

Fig.184-2222(包含層)

Fig.183-2203(SK220)

Fig.185-2226(整地層)

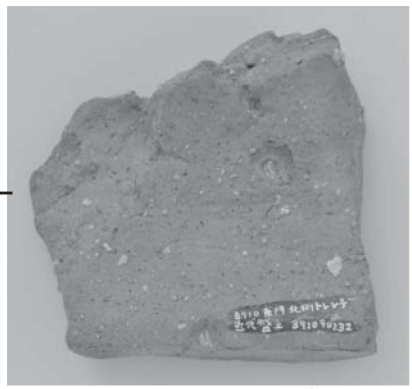


Fig.185-2228(近代層)

報 告 書 抄 録

ふりがな	しせき　こうろかんあと
書　　名	史跡 鴻臚館跡
副 書 名	－南館部分の調査(2)－
巻　　次	鴻臚館跡 20
シリーズ名	福岡市埋蔵文化財調査報告書
シリーズ番号	第1213集
編 著 者 名	吉武　学
編 集 機 関	福岡市教育委員会
所 在 地	〒810-8621　福岡市中央区天神１丁目８－１　　電話番号　092-711-4784
発行年月日	2013年3月22日

ふりがな 遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯 °′″	東経	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
しせきこうろかんあと・ しせきふくおかじょうあと 史跡鴻臚館跡・ 史跡福岡城跡	ふくおかしちゅうおうく じょうない１－１ 福岡市中央区 城内１－１	40134	0192	33° 35′ 12″	130° 23′ 11″	19880727～19881210 19890420～19891207 19900409～19910131 19910501～19920331 19920910～19930331 19940606～19940731 19951101～19960329 19960704～19961204 19970818～19980131	856 1,200 1,300 1,000 430 50 300 450 204 (計5,790)	範囲確認

所有遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
史跡鴻臚館跡・ 史跡福岡城跡	集落 官衙	古墳時代 ～現代	溝 土坑 整地層 包含層	須恵器 土師器 中国陶磁器 朝鮮陶磁器 瓦 石製品 鉄製品 銅製品 ガラス製品	古代の客館である 鴻臚館（筑紫館） 跡の遺構

史跡 鴻臚館跡
鴻臚館跡 20
－南館部分の調査(2)－
福岡市埋蔵文化財調査報告書第 1213 集
2013 年（平成 25 年）3 月 22 日
発　行　福岡市教育委員会
福岡市中央区天神 1 丁目 8 － 1
印　刷　アド印刷
福岡市博多区博多駅南 5 丁目 20-30